

GMAX[®] 3400、GMAX[®] II 3900/5900/7900、および TexSpray 5900HD/7900HD エアレススプレーヤ 3A6414C JA

建築ペンキおよびコーティングの用途向け。一般目的では使用しないでください。
ヨーロッパでは、爆発性雰囲気区域での使用は承認されていません。

3300 psi (22.8 MPa、228 bar) 最大使用圧力



重要な安全上の指示

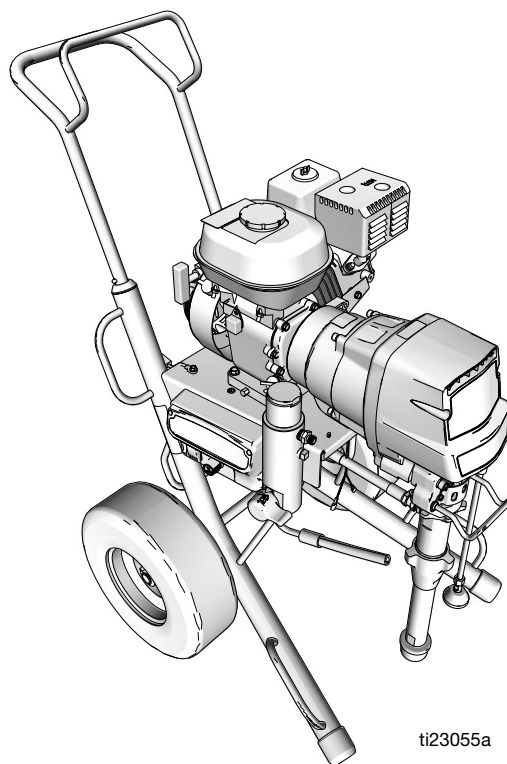
機器を使用する前に、本取扱説明書内および操作およびガスエンジン取扱説明書のすべての警告と指示をお読みください。装置のコントロールと適切な使用方法を熟知してください。説明書は保管してください。

関連説明書：

部品
ホンダエンジン取扱説明書

3A6417

	モデル	標準	ProContractor™	Lo-Boy	Ironman®
	GMAX 3400	17L825			
	GMAX II 3900	17E827、 2012514 (欧州)		17L826	
	GMAX II 5900	17P831		17L829	
	GMAX II 5900コン パチブル	17E830			
	GMAX II 7900	17E836		17E834	
	TexSpray 5900HD	17E839			
	TexSpray 7900HD	17E841			
 	GMAX 3400	17W997			
	GMAX II 3900	17G999、 2012515 (欧州)	17E828、 2012213 (欧州)	17W998	
	GMAX II 5900	17H810	17E832	17H808	17E833
	GMAX II 7900	17H818	17E837	17P817	17E838
	GMAX II 7900レー フリグ				17E835
	TexSpray 5900HD	17H819	17E840		
	TexSpray 7900HD	17H820	17E842		17E843



ti23055a



目次

警告	3	LED ディスプレイ	21
電動モーターの警告	4	(ProContractor および Ironman ユニット)	21
内燃エンジンの警告	5	クリーンアップ	25
電動モーター / 内燃エンジンの警告	6	メンテナンス	27
構成部品の名称	8	トラブルシューティング	28
標準モデル (3400, 3900, 5900, 5900HD, 7900, 7900HD)	8	液体ポンプの常時運転	31
ProContractor モデル (3900, 5900, 7900, 5900HD, 7900HD)	9	制御盤の誤動作	32
Ironman モデル (5900, 7900, 7900HD)	10	制御盤の誤動作 (ステップ)	33
Lo-Boy モデル (3900, 5900, 7900)	11	コンバーチブル電気モーターが動作 しません	34
コンバーチブルモデル (5900)	12	コンバーチブル電気モーターが作動 しません (ステップ)	35
圧力開放手順	13	コンバーチブル電気モーターの運転 - スプレーヤ制御ボードに AC出力がない	36
接地	13	LED ディスプレイのメッセージ	38
内燃エンジンの接地手順	13	ピニオンアセンブリ/クラッチアーマ チュア/クランプ	39
ペール缶の接地	14	ピニオンアセンブリ/クラッチアーマ チュアの取り外し	39
設定	15	取り付け	40
コンバーチブルモデルのみ	16	クランプの取り外し	40
始動	17	クランプの取り付け	40
チップガードアセンブリを切り替えます ...	18	技術データ	41
スプレー	18	Graco 標準保証	47
チップの詰まりの除去	19	Graco に関する情報	48
WatchDog™ 保護システム (ProContractor および Ironman モデルのみ)	19		
QuikReel™ (ProContractor モデルのみ)	20		

警告

次の警告は、この機器の設定、使用、接地、保守と修理に関するものです。感嘆符の記号は一般的な警告を、危険記号は手順に固有の危険性を表します。本書の本文中や警告ラベルにこれらの記号が表示されている場合は、これらの警告を参照してください。このセクションにおいて扱われていない製品固有の危険シンボルおよび警告が、必要に応じて、この取扱説明書の本文に示されている場合があります



警告

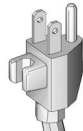


接地

本製品は接地する必要があります。接地とは、電流を逃す配線を設けておくことで、回路短絡が発生した場合の感電の危険性を削減できます。本製品には、適切な接地プラグの付いた接地線を備えたコードが付属しています。プラグは、各自治体の条例に従って適切に取り付けられ、接地されたアウトレットに接続する必要があります。

- 接地プラグの設置が適切でないと、感電の危険が発生します。
- コードまたはプラグの修理および交換が必要な場合には、接地線をどちらのフラットブレードターミナルにも接続しないでください。
- 絶縁されていて、外側の表面が緑色の線が接地線です。黄色の縞は入るものと入らないものがあります。
- 接地の指示が十分に理解できない場合、または製品が正しく接地されているかどうか疑問のある場合は、資格を持った電気技師あるいはサービス作業担当者に問い合わせてください。
- 提供されたプラグは改造しないでください。□コンセントに適合していない場合には、資格を持った電気技師に適切なコンセントの設置を依頼してください。
- 本製品は定格 120V の回路で使用されるように製造されており、下図のプラグに類似した接地プラグが付属しています。

120V 米国



- 製品はプラグと同様の構造のコンセントにのみ接続して下さい。
- アダプタを使用して接続しないでください。
- 延長コード：
- 本製品には、接地付きコンセントと、本製品のプラグと接続できる 接地付きの差し込み口のある 3 線式延長コードのみを使用してください。
- 延長コードに損傷がないことを確かめてください。延長コードが必要な場合、本製品に必要な電流を確保するために、12 AWG (2.5 mm²)以上のコードを使用してください。
- 規格が下回るコードを使用すると、線間電圧の低下、電力の損失、過熱の原因となります。

電動モーターの警告



警告



火災および爆発の危険性

作業場で溶剤や塗料のガスなどの可燃性の気ガスは引火または爆発する可能性があります。火災と爆発を防止するために：



- 直火あるいは着火源となる煙草、モーター、電気器具などの付近では、可燃性のもの、易燃性のものをスプレーしないでください。
- 塗料や溶剤が装置を通ると、静電気が発生する場合があります。塗料や溶剤からの蒸気がある場合、静電気によって火災や爆発が発生する危険があります。静電気放電と火花を防ぐため、ポンプ、ホースアセンブリ、スプレーガン、およびスプレーエリア内やその付近のすべての物体は、適切に接地する必要があります。Graco の導電性、または接地された高圧エアレス塗料スプレーヤーホースを使用してください。
- 静電気の放電を防ぐために、すべての容器及び回収システムが接地されていることを確認してください。静電気防止または導電性でない限り、ペール缶ライナーは使用しないでください。
- 接地されたコンセントに接続し、接地された延長コードを使用してください。3 端子を 2 端子に変換するアダプタは使用しないでください。
- ハロゲン化炭化水素を含む塗料または溶剤を使用しないでください。
- 引火性または可燃性の液体を密閉された場所でスプレーしないでください。
- スプレー作業を行う場所では常に換気を行ってください。操作を行う場所では換気を常によくしてください。
- スプレーヤーは火花を発生させます。スプレー、すすぎ、洗浄、点検を行うときは、ポンプアセンブリを換気が十分な場所に置き、スプレーする場所から最低でも 20 ft (6.1 m) 離します。ポンプアセンブリに向かってスプレーしないでください。
- スプレー場所では喫煙しないでください。また火花や炎がある場所ではスプレーしないでください。
- スプレー場所では、照明スイッチ、エンジン、または同様の火花を発生する製品を使わないでください。
- スプレー場所は清潔に保ち、塗料または溶剤の容器、ウエス、その他の可燃性の物を置かないでください。
- スプレーする塗料および溶剤の成分を確認してください。すべての安全データシート (SDSs) やペンキ、溶剤に付属の容器ラベルをお読みください。塗料や溶剤メーカーの安全指示に従ってください。
- 作業場には消火器を置いてください。

内燃エンジンの警告

 警告	
   	火災および爆発の危険性 作業場内で溶剤や塗料のガスなどの可燃性の気ガスは引火または爆発する可能性があります。装置内を流れる塗料や溶剤は、静電気スパークの原因となります。火災と爆発を防止するために： • 十分換気された場所でのみ使用するようにしてください。 • 表示灯やタバコの火、懐中電灯およびプラスチック製シート（静電スパークが発生する恐れのあるもの）などのすべての着火源は取り除いてください。 • 作業場にある全ての装置を接地してください。接地の指示を参照してください。 • 溶剤を高圧でスプレーしたり洗浄したりしないでください。 • 溶剤、ウェスおよびガソリンなどの異物を作業場に置かないでください。 • 可燃性の気体が充満している場所で、電源コードの抜き差しや電気や電灯のスイッチのオン/オフはしないでください。 • 接地されたホースのみを使用してください。 • ペール缶に向けて引き金を引く場合、ガンを接地された金属製ペール缶の縁にしっかりと当ててください。静電気防止または導電性でない限り、ペール缶ライナーは使用しないでください。 • 静電気放電が生じた場合、または感電したと感じた場合、操作を直ちに停止してください。問題を特定し修正するまでは、装置を使用しないでください。 • 作業場には消火器を置いてください。 ガソリン蒸気は発火や爆発するおそれがあります。火災と爆発を防止するために： • エンジンの運転中または熱い間は、燃料タンクに燃料を入れたり、燃料タンクキャップを外したりしないでください。エンジンを停止して冷却させてください。燃料は引火性であり、熱された面の上またはその近くにこぼれた場合、発火または爆発するおそれがあります。 • 燃料タンクに過剰に給油しないでください。こぼれた燃料をきれいに拭き取り、給油場所から装置を移動してから、エンジンを始動してください。 • 屋内で燃料タンクには給油しないでください。装置が地上に置かれているとき以外は給油しないでください。
	一酸化炭素の危険性 排気には、無色無臭の有毒な一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸引すると、死亡する恐れがあります。 • 密閉した場所で内燃エンジンを操作しないでください。
	火傷の危険性 加熱された装置表面と液体は、操作中に非常に高温になることがあります。重度の火傷を避けるためには： • 高温の流体や装置に触らないでください。

電動モーター / 内燃エンジンの警告



警告



高圧噴射による皮膚への危険性

高圧の噴射により、体内に有害物質が入り込み、切断に至る重傷を生じさせる可能性があります。万一肌に付着した場合は、**直ちに外科的処理を受けてください。**



- ・ 人間もしくは動物に向かってガンやスプレーを発射しないでください。
- ・ 手やその他の体の部位を噴射部分に近づけないでください。例えば、身体のかなる部分を使って液漏れを止めようとししないでください。
- ・ ノズル先端ガードを常に使用してください。ノズル先端ガードが定位置にない場合は、スプレーを行わないでください。
- ・ Graco のノズルチップをご利用ください。
- ・ ノズルチップの清掃および交換は注意深く行ってください。ノズルチップがスプレー中に詰まった場合は、ノズルチップを清掃のために取り外す前に、**圧力開放手順**に従い、装置の電源をオフにして圧力を開放してください。
- ・ 装置は電源切断後も圧力を維持します。機器の電源をオンにしたまま、または加圧中のままで放置しないでください。機器が放置されていたり、使用されていない場合は、整備作業、クリーニング、または部品の取り外しを行う前に、**圧力開放手順**に従ってください。
- ・ 損傷の兆候があるホースや部品がないか確認してください。損傷したホースや部品があれば、交換してください。
- ・ このシステムは 22.8 MPa (228 bar, 3300 psi) を生成できます。最低 228 MPa (22.8 bar, 3300 psi) の定格を持つ Graco 製の交換部品やアクセサリを使用してください。
- ・ スプレーを中断するときは、引き金ロックをかけてください。引き金ロックが正しく機能しているか確認してください。
- ・ 機器を操作する前に、すべてしっかりと接続されていることを確認してください。
- ・ 手早く機器を停止する方法、圧力を除去する方法を学んでおいてください。コントロール類をよく知っておいてください。



装置の誤用の危険性

誤用は死亡あるいは重傷の原因となります。

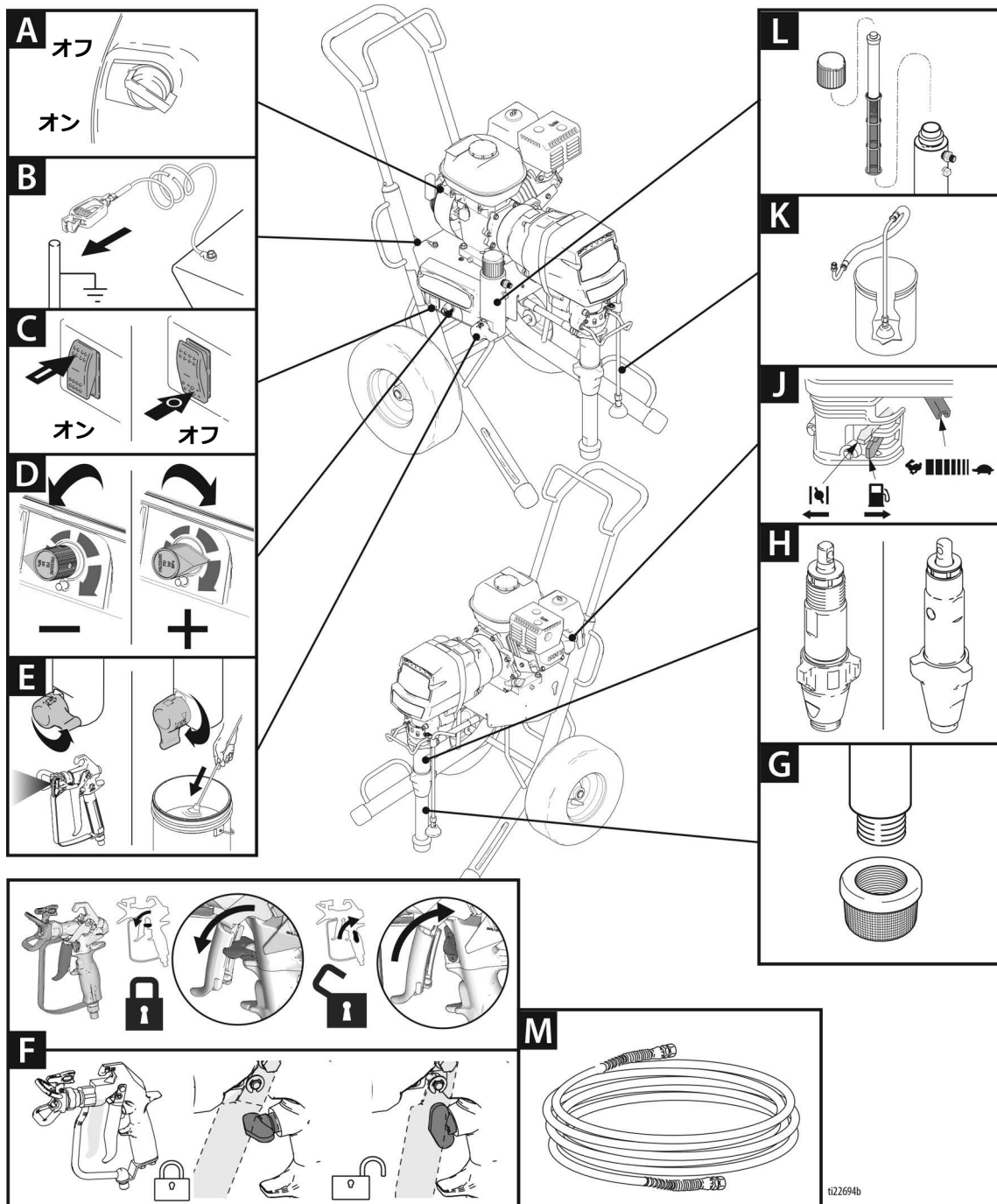


- ・ 疲労状態のときや、薬を服用しているときや飲酒状態のときは、装置を操作しないでください。
- ・ システム内で耐圧・耐熱定格が最も低い部品の最大使用圧力・最高使用温度を超えないようにしてください。全ての装置の取扱説明書の**技術仕様**を参照してください。
- ・ 装置の接液部に適合する液体と溶剤を使用してください。すべての装置の取扱説明書の**技術仕様**を参照してください。液体および溶剤のメーカーの警告をお読みください。使用している材料に関する詳しい情報については、販売代理店または小売店から安全データシート (SDS) を取り寄せてください。
- ・ 装置が通電中あるいは加圧中の場合は作業場を離れないでください。
- ・ 装置を使用していない場合は、すべての装置の電源を切断し、**圧力開放手順**に従ってください。
- ・ 装置は毎日点検してください。メーカー純正の交換用部品のみを使用し、磨耗または破損した部品を直ちに修理または交換してください。
- ・ 装置を改造しないでください。装置を改造または変更すると、認証機関の承認が無効になり、安全上の危険が生じる場合があります。
- ・ すべての装置が使用する環境に対して認定され、承認されていることを確認してください。
- ・ 装置を定められた用途以外に使用しないでください。詳しくは販売代理店にお問い合わせください。
- ・ ホースとケーブルは通路、鋭利な物、可動部品、高温の装置から離してください。
- ・ ホースをねじったり、過剰に曲げたり、ホースを使用して装置を引き寄せたりしないでください。
- ・ 子供や動物を作業場から遠ざけてください。
- ・ すべての適切な安全に関する規制に従ってください。

 警告	
	加圧状態のアルミニウム部品使用の危険性 加圧された装置内でアルミニウムと混合不可能な液体を使用した場合、深刻な化学反応や装置の破裂を引き起こすことがあります。この警告に従わない場合、死亡や重傷、物的損害が発生する可能性があります。 1,1,1-トリクロロエタン、塩化メチレン、その他のハロゲン化炭化水素溶剤、またはこれらを含む液体は使用しないでください。 - 漂白剤を使用しないでください。 - 他の多くの液体も、アルミニウムと反応する恐れのある化学物質を含んでいる場合があります。適合性については、材料供給元にお問い合わせください。
 	可動部品の危険性 可動部品は指や身体の一部を挟んだり、切ったり、切断したりする可能性があります。 - 可動部品に近づかないでください。 - 保護ガードまたはカバーを取り外したまま機器を運転しないでください。 - 装置は、いきなり始動することがあります。装置を点検、移動、またはサービスする前に、圧力開放手順に従ってすべての電源接続を外してください。
 	巻き込みの危険性 回転している部品は、重傷事故を引き起こす可能性があります。 - 可動部品に近づかないでください。 - 保護ガードまたはカバーを取り外したまま機器を運転しないでください。 - 機器を操作するときは、ゆったりとした服装、宝石類、長髪を身につけないこと。 - 装置は、いきなり始動することがあります。装置を点検、移動、またはサービスする前に、圧力開放手順に従ってすべての電源接続を外してください。
	有毒な液体または蒸気の危険性 有毒な液体やガスが目に入ったり、皮膚に付着したり、それらを吸い込んだり、飲み込んだりすると、重傷を負ったり死亡したりする原因となることがあります。 - 安全データシート (SDS) を参照して、使用している流体固有の危険性を知っておいてください。 - 有毒な液体は保管用として許可された容器に保管し、廃棄する際には適用されるガイドラインに従ってください。
	反動の危険 ガンは引き金を引いたときにリコイルすることがあります。しっかり立っていないと、倒れて重傷を負う可能性があります。
	個人用保護具 作業場にいる際、目の怪我、難聴、毒性ガスの吸引、および火傷を含む大怪我から自身を守るために、適切な保護具を身につける必要があります。保護具には以下のものが含まれますがこれに限定されません。 - 保護めがねと聴覚保護。 - 流体および溶剤の製造元が推奨するマスク、保護衣および手袋。

構成部品の名称

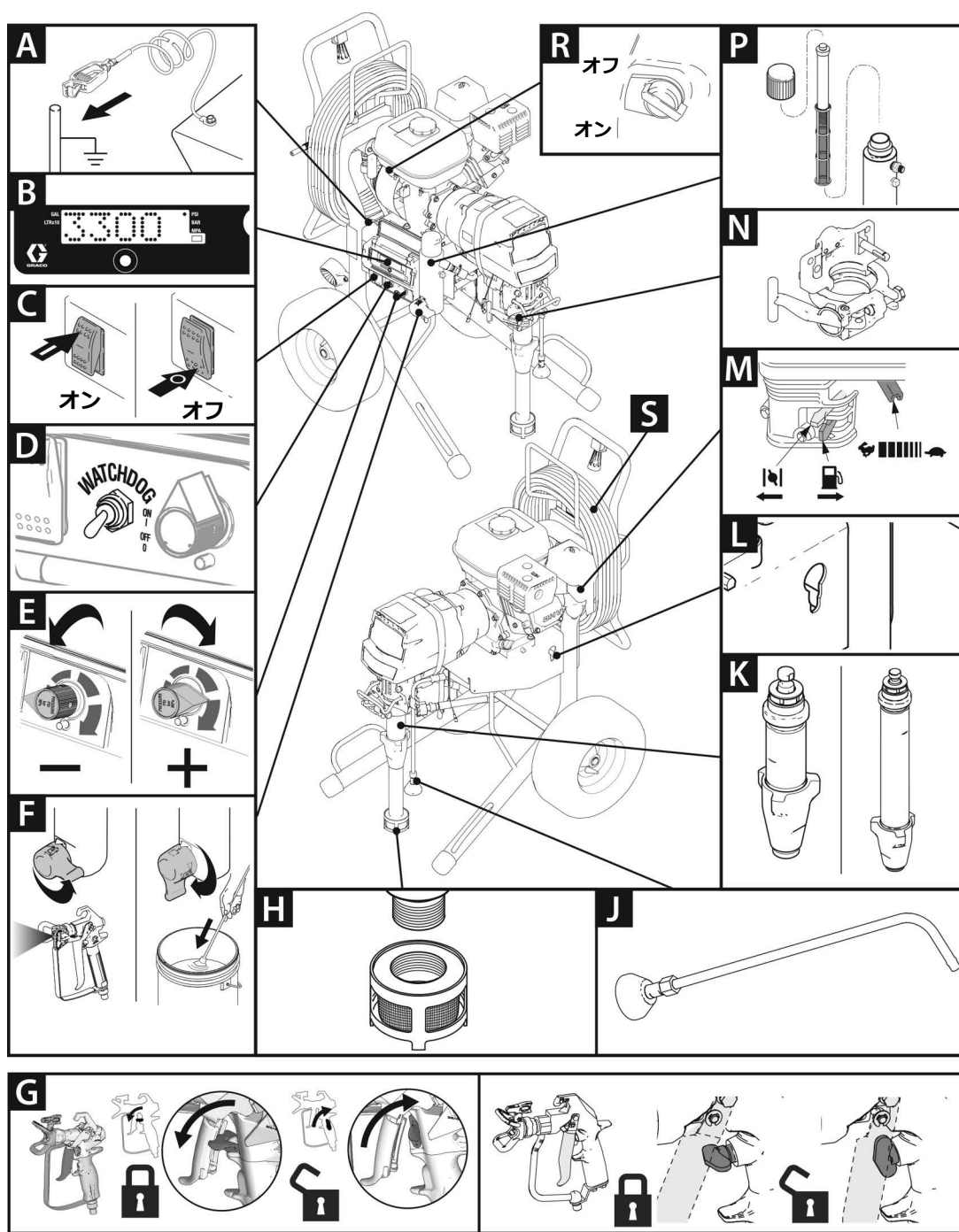
標準モデル (3400, 3900, 5900, 5900HD, 7900, 7900HD)



A	エンジンのオン/オフスイッチ
B	接地クランプ
C	ポンプのオン/オフスイッチ
D	圧力コントロール
E	プライムバルブ
F	ガン引き金ロック

G	ストレーナ
H	ポンプ
J	エンジン制御
K	ドレインホース
L	簡単に外せるポンプフィルター
M	ホース

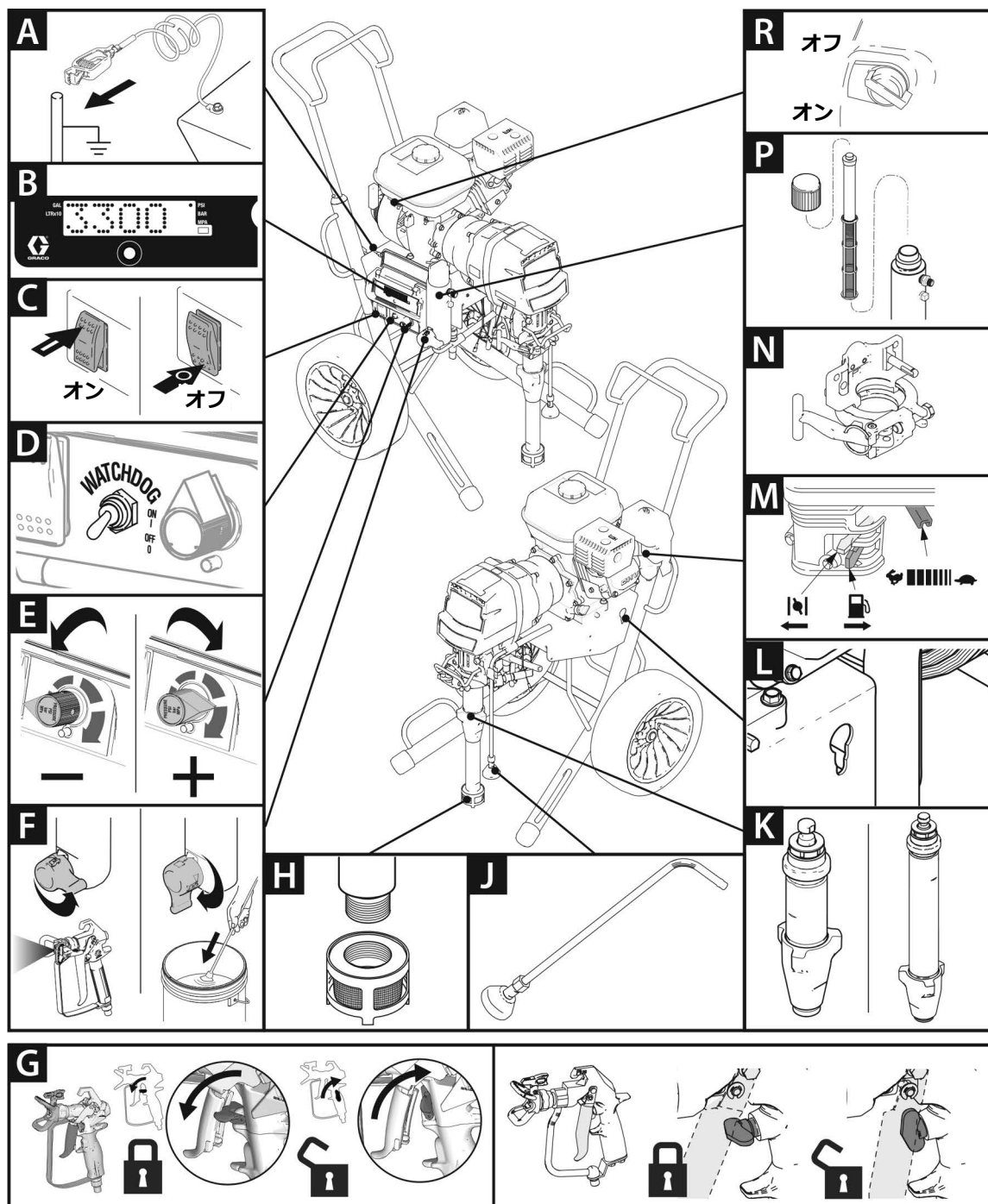
ProContractor モデル (3900, 5900, 7900, 5900HD, 7900HD)



A	接地コイル
B	スマートコントロール 3.0 ディスプレイ
C	ポンプのオン/オフスイッチ
D	WatchDog™ スイッチ
E	圧力コントロール
F	プライムバルブ
G	ガン引き金ロック
H	ストレーナ

J	ドレインホース
K	ポンプ
L	ロッドプル機能
M	エンジン制御
N	ProConnect® II ポンプクランプ
P	フィルター
R	エンジンのオン/オフスイッチ
S	QuikReel™

Ironman モデル (5900, 7900, 7900HD)

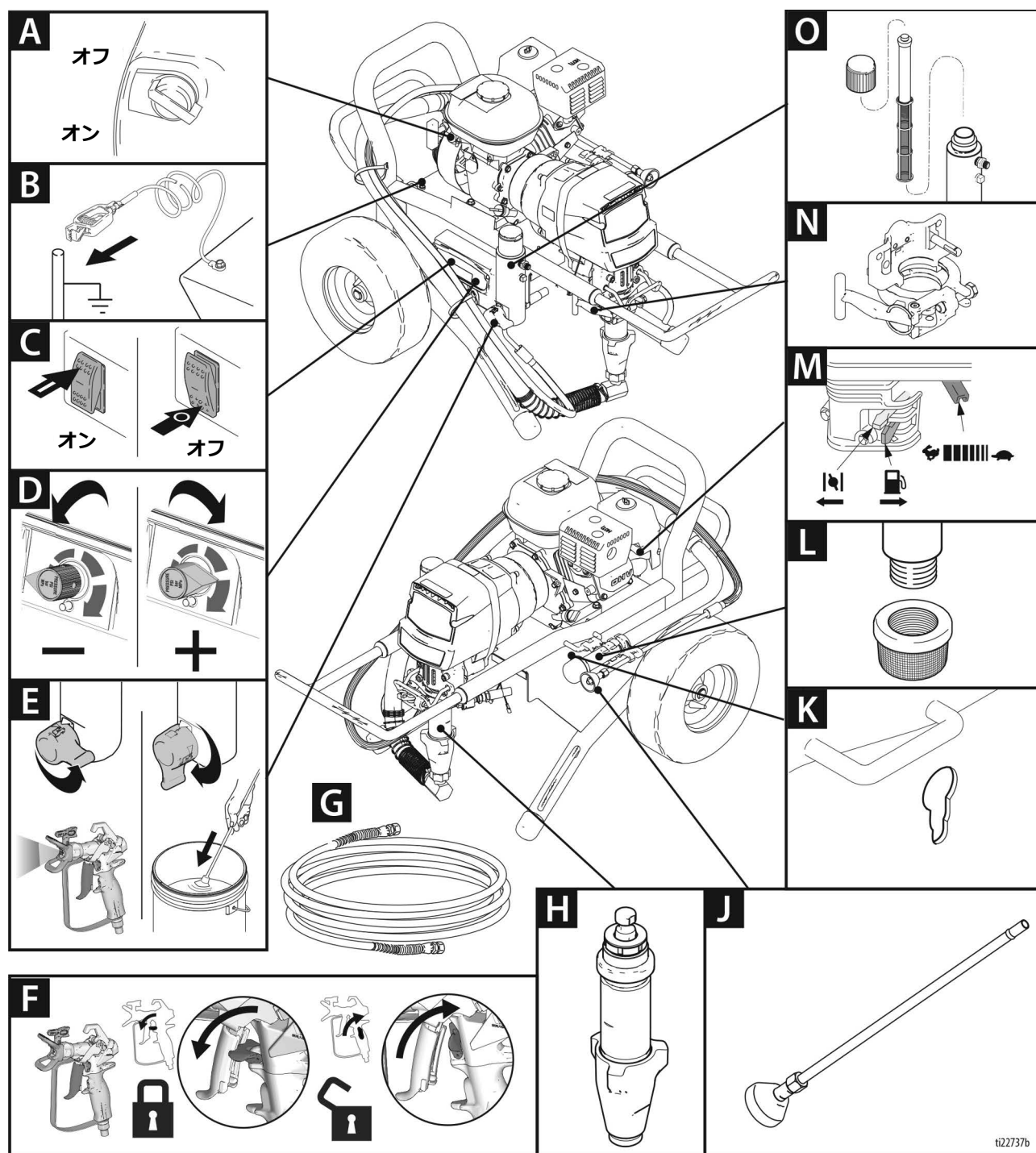


1022741C

A	接地コイル
B	スマートコントロール 3.0 ディスプレイ
C	ポンプのオン/オフスイッチ
D	WatchDog™ スイッチ
E	圧力コントロール
F	プライムバルブ
G	ガン引き金ロック
H	ヘビーデューティーストレーナ

J	ドレインホース
K	MaxLife ポンプ:
L	ロッドプル機能
M	エンジン制御
N	ProConnect® II ポンプクランプ
P	簡単に外せるポンプフィルター
R	エンジンのオン/オフスイッチ
S	ホース (非表示)

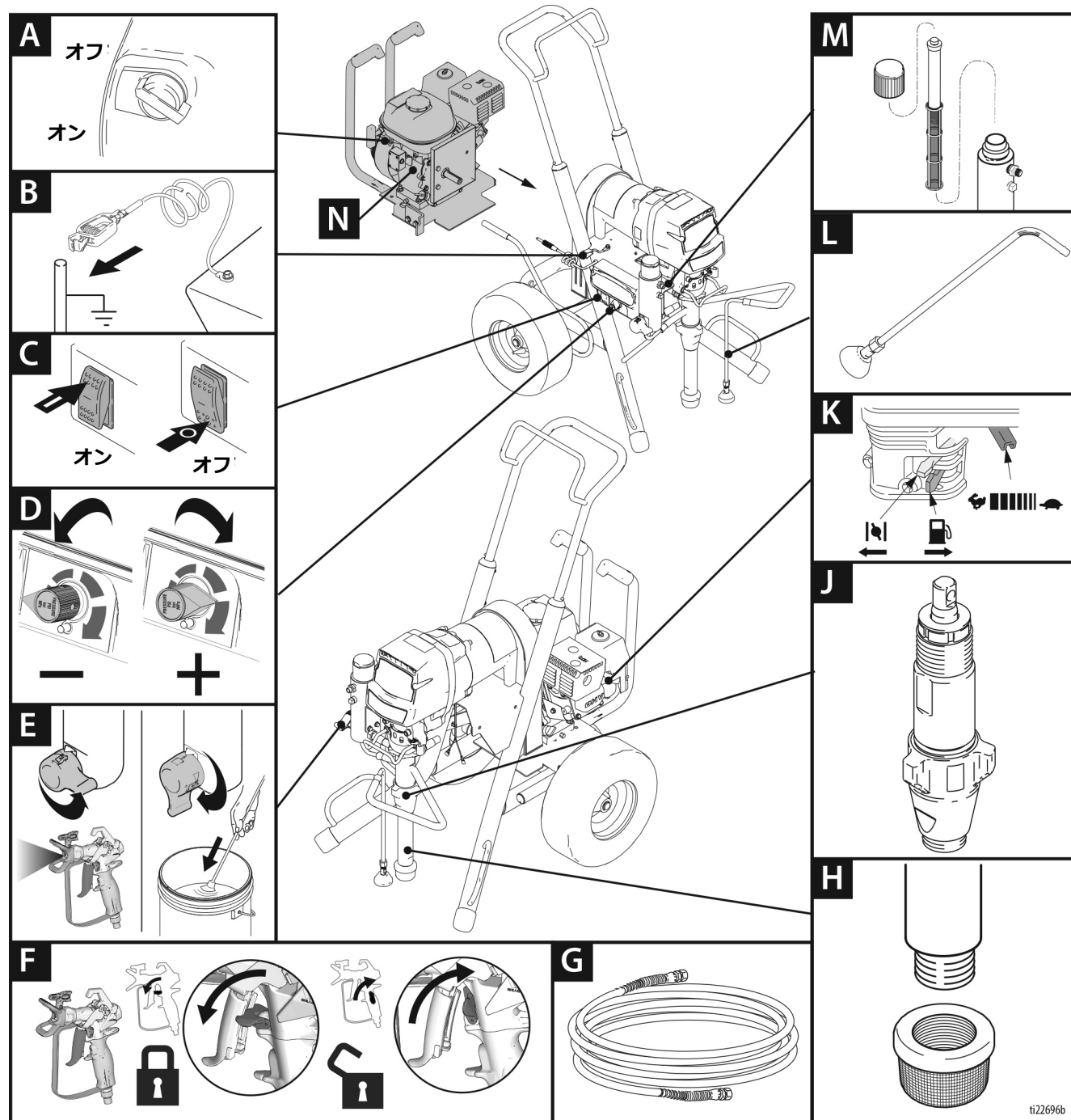
Lo-Boy モデル (3900, 5900, 7900)



A	エンジンのオン/オフスイッチ
B	接地コイル
C	ポンプのオン/オフスイッチ
D	圧力コントロール
E	プライムバルブ
F	ガン引き金ロック
G	ホース

H	ポンプ
J	ドレインホース
K	ロッドブル機能
L	ストレーナ
M	エンジン制御
N	ProConnect® II ポンプクランプ
O	簡単に外せるポンプフィルター

コンバーチブルモデル (5900)



A	エンジンのオン/オフスイッチ
B	接地コイル
C	ポンプのオン/オフスイッチ
D	圧力コントロール
E	プライムバルブ
F	ガン引き金ロック

G	ホース
H	ストレーナ
J	ポンプ
K	エンジン制御
L	ドレインホース
M	簡単に外せるポンプフィルター
N	電源パック

圧力開放手順

 この記号が表示されている箇所では、圧力開放手順に従ってください。

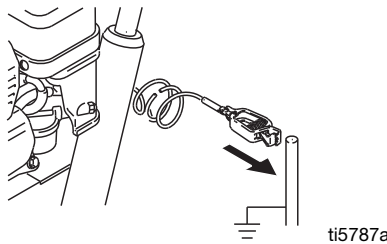
				
本装置は、圧力が手動で解放されるまでは、加圧状態が続きます。加圧された液体 (肌への噴射など)、液体の飛散、可動部品による深刻な負傷の発生を防止するため、スプレー停止後と装置を清掃、点検、および整備する前に、圧力開放手順に従ってください。				

1. 引き金ロックを掛けます。
2. エンジンのオン/オフスイッチをオフにします。電気モーターのコンバーチブルモデルの場合、電気モーターのオン/オフスイッチをオフに回し、電気モーターの電源コードを抜いてください。
3. 引き金ロックを解除します。接地済み金属ペール缶の縁にガンの金属部分をしっかり押し付け、ガンの引き金を引いて圧力を開放します。
4. ガン引き金ロックをかけます。
5. プライムバルブを「ドレイン」の位置に下げます。再度のスプレーの準備が整うまでプライムバルブを下にします。
6. スプレー先端やホースが詰まっているか、圧力が完全に解放されていないと思われる場合、以下の操作を行います。
 - a. 先端ガード保持ナットまたはホース端結合部をごくゆっくりと緩めて、徐々に圧力を解放します。
 - b. ナットまたはカップリングを完全に緩めます。
 - c. ホースやチップの詰まりを除去します。

接地

内燃エンジンの接地手順

				
静電気火花による危険性を抑えるため、装置は必ず接地してください。静電気によるスパークによって、気体の引火または爆発が生じることがあります。接地することで、配線を通して電流を逃すことができます。				

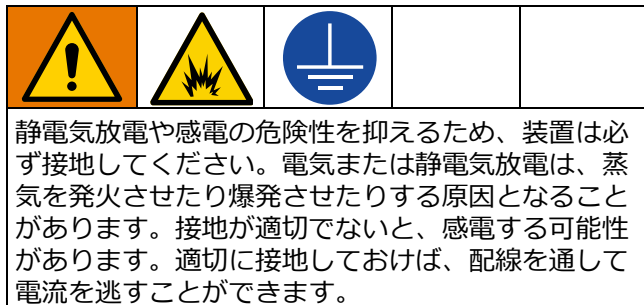


スプレーヤの接地: スプレーヤ接地クランプを接地点に接続します。

エアホースおよび液体ホース: 接地の導通を確保するため、ホース長の合計が最大 150 m (500 フィート) の導電性ホースのみを使用してください。ホースの電気抵抗を確認してください。接地の全抵抗が 29 メガオームを超える場合は、即座にホースを交換します。

スプレーガン: 正しく接地された液体ホースおよびポンプに接続することによって接地します。

電気モーターの接地手順（コンバーチブルモデルのみ）



本スプレーヤーには、適切な接地プラグと適切な接地ワイヤを備えた電源コードが付属しています。

電動モーターを使用している場合、プラグは、各自治体の法令と条例に従って適切に取り付けられ接地されたアウトレットに接続する必要があります。

提供されたプラグは改造しないでください。コンセントに適合していない場合には、資格を持った電気技師に適切なコンセントの設置を依頼してください。

電源要件

コンバーチブルは米国またはカナダのみを対象としています。

- 100/-120VAC、50/60 Hz、15A、1フェーズ

延長コード

破損のない接地接点付きの延長コードを使用してください。延長コードが必要な場合は、3 線 2.5 mm² (12 AWG) 以上のコードを使用してください。

注: 小さいゲージ、または長い拡張コードを使用すると、スプレーヤーの機能が低下することがあります。

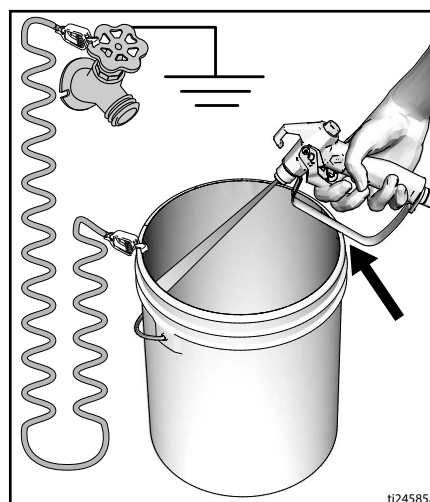
ペール缶の接地

洗浄時に使用される溶剤ペール: ご使用の地域の法令に従って下さい。接地済みの場所に置かれた導電性の金属製ペール缶のみを使用してください。接地の導通を妨げる紙や段ボールのような非導電性のものの上にペール缶を置かないでください。



金属ペール缶は必ず接地: ペール缶に接地線を接続します。一方の端はペール缶にクランプし、他方の端は水道管などの正しい接地にクランプします。

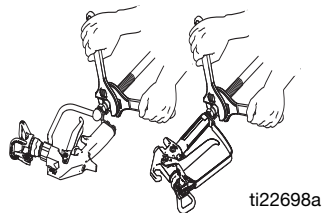
スプレーヤーを洗浄したり、圧力を開放しているときに、接地の導通を維持するには: スプレーガンの金属部分を接地された金属製ペール缶の縁に向けてしっかりと持って、ガンの引き金を引きます。



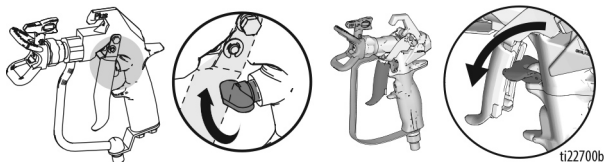
設定



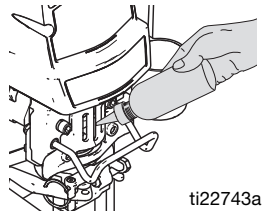
1. **ProContractor を除くすべてのスプレーヤ:** スプレーヤに適切なグラコエアレスホースを接続します。
2. **単位の選択:** 2つのレンチを使って、ホイップホースをスプレーガンの液体インレットに取り付けて固く締め付けます。



3. ガン引き金ロックをかけます。



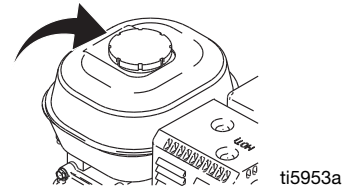
4. パッキンの早期磨耗を防ぐため、スロートパッキンナットに TSL を満たします。これはスプレーするたびに行ってください。



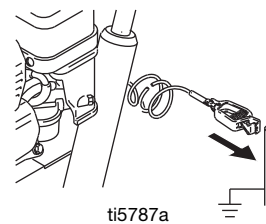
5. エンジンオイル量を点検します。必要であれば、SAE 10W-30 (夏) または 5W-20 (冬) を追加します。



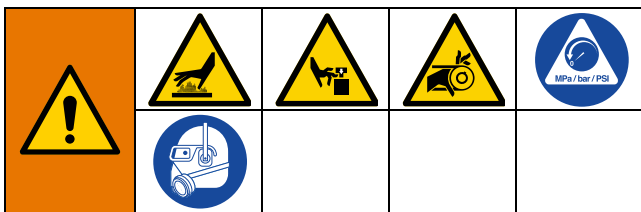
6. エンジンが冷めるまで待ちます。キャップを外し、燃料タンクに給油します。キャップをしっかり固定します。



7. スプレーヤ接地クランプを接地点に接続します。

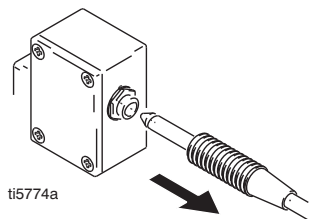


コンバーチブルモデルのみ

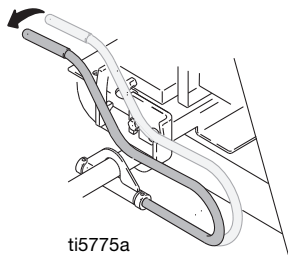


ガスエンジンから電動モーターへの交換

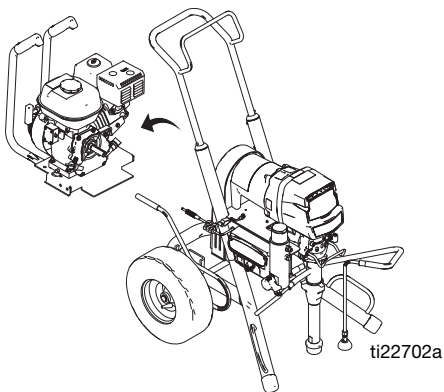
1. エンジンの電源コードを外します。



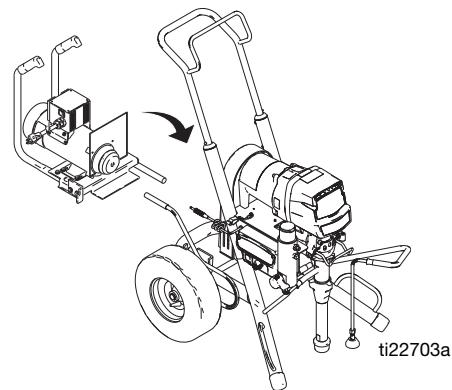
2. テンションバーをリリースします。



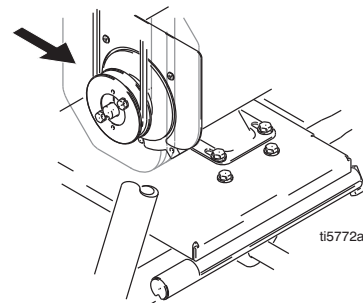
3. エンジンを外します。傾けて後ろにスライドさせます。



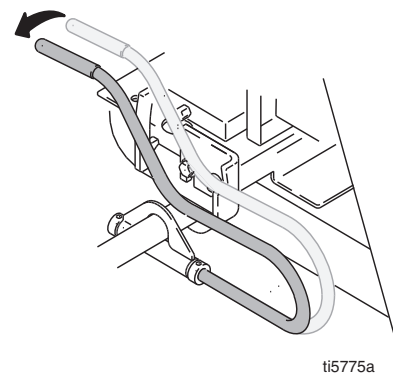
4. モーターを取り付けます。中に入れ前方に押します。



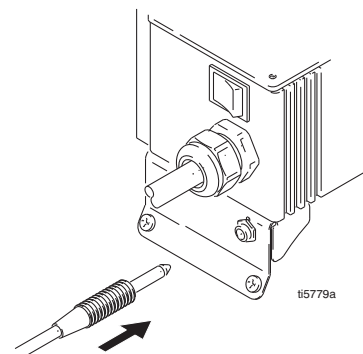
5. サイドベントホールを見ながら、駆動ベルトが電動機プーリに付いていることを確認します。



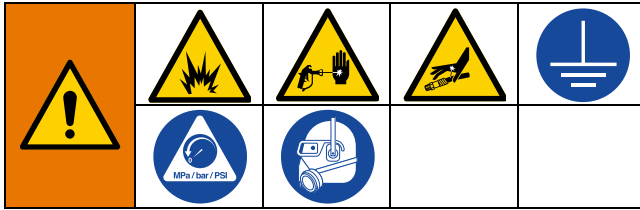
6. テンションバーでモーターを固定して下さい。



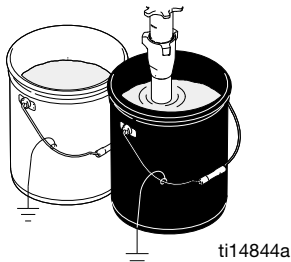
7. 圧力コントロール電源コードのプラグを差し込みます。



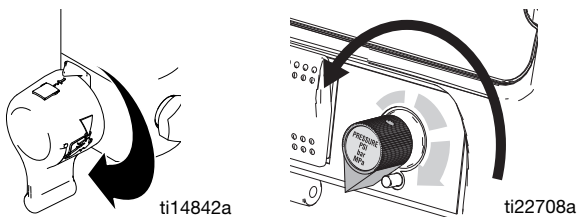
始動



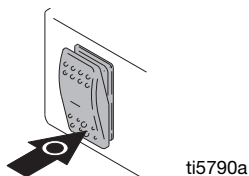
1. 洗浄用液体を部分的に満たされた接地済み金属缶に吸引チューブとドレインチューブを入れます。接地ワイヤを缶および大地アースに接続します。



2. プライムバルブを「ドレイン」の位置に下げます。圧力コントロールを反時計回りに回し、圧力最低の位置にします。

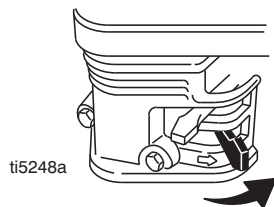


3. スイッチをオフにします。

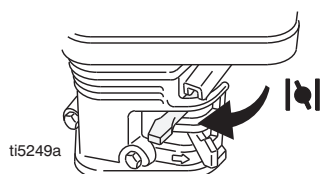


4. エンジンを始動させます。

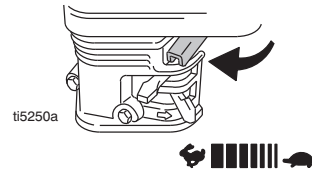
- a. 燃料バルブを「開」の位置にします。



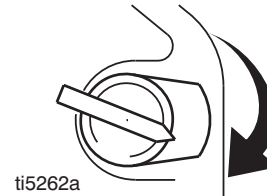
- b. チョークを「閉」の位置にします。



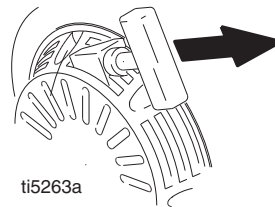
- c. スロットルを「高速」の位置まで回します。



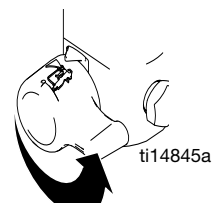
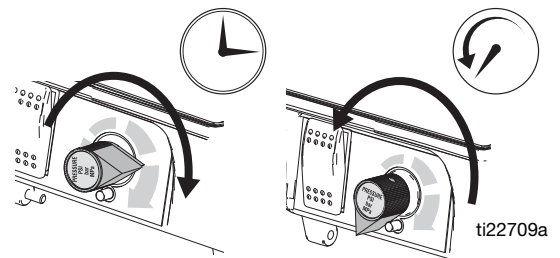
- d. エンジンスイッチをオンにします。



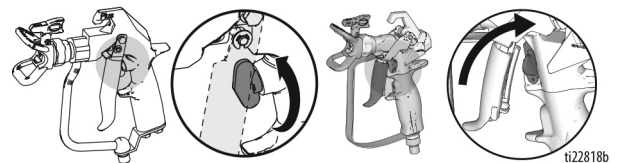
5. ロープを引っ張ってエンジンを始動させます。



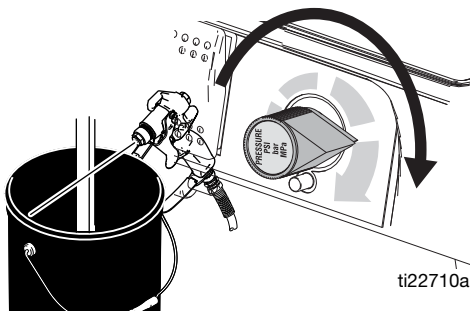
6. 圧力を十分に上昇させポンプを回転させ、15秒間液を循環させます。圧力を下げ、プライムバルブを前方に回して「スプレー」位置にします。



7. スプレーガンの引き金のロックを外します。



8. ガンを接地した金属製洗浄用容器に押し付けます。ガンの引き金を引き、ポンプがスムーズに作動するまで流体圧力を上昇させます。

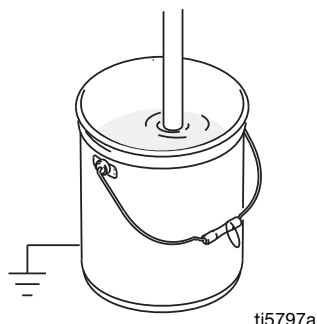


ti22710a

高圧の噴射により、皮下に有害物質が入り込み、重傷となる可能性があります。手や雑巾で漏れを止めようとししないでください。				

9. 取り付け金具に漏れがないか点検します。漏れが生じた場合は、スプレーヤーをすぐにオフにしてください。**圧力開放手順**のステップ1～3 (13ページ) を実行します。漏れのある金具を締めます。**始動**の手順 1～5 を繰り返します。漏れがない場合、システムが完全に洗浄されるまでガンの引き金を引いたままにします。手順 6 に進みます。

10. 材料缶の中にサイフォンチューブを入れます。



ti5797a

11. 材料が出て来るまで再度洗浄液容器に向けてガンの引き金を引きます。



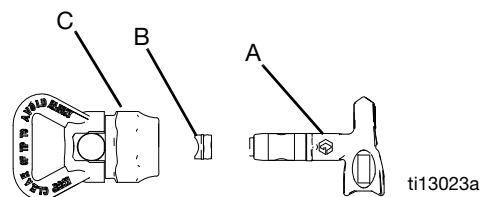
ti13243a

チップガードアセンブリを切り替えます



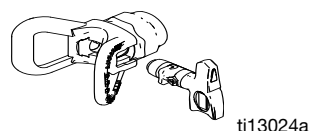
噴射によって皮膚に重傷を負うことを避けるため、スプレーチップやチップガードを取り付けたり、取り外したりするときには、スプレーチップの前に手を置かないでください。

1. **圧力開放手順** (13 ページ) を実施してください。
2. ガン引き金ロックをかけます。Switch Tip を挿入します。シートとOneSeal™を取り付けます。



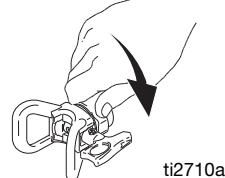
ti13023a

3. Switch Tip を挿入します。



ti13024a

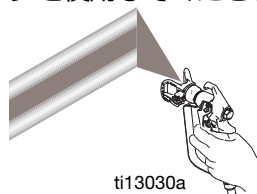
4. アセンブリをガンにねじ込みます。締めます。



ti2710a

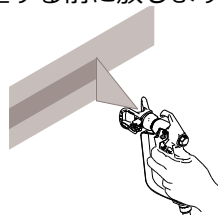
スプレー

1. テストパターンをスプレーします。ヘビーエッジを除去するため圧力を上げます。圧力を調整してもむらがない場合には、小さいサイズのチップを使用してください。



ti13030a

2. 表面から 25 ～ 30 cm (10 ～ 12 インチ) 離して、ガンを垂直に持ちます。前後にスプレーします。50 %重なります。移動した後、ガンの引き金を引き、停止する前に放します。

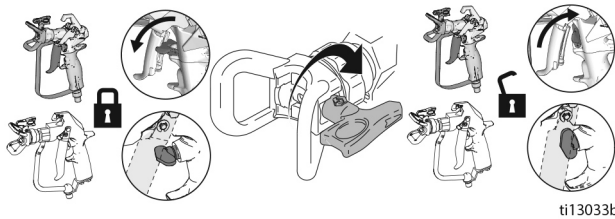


ti13025a

チップの詰まりの除去

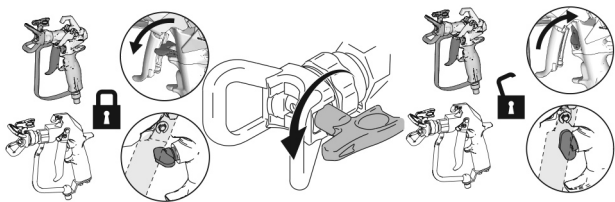


1. 引き金を解放し、次に引き金をロックします。スイッチチップを回転させます。引き金ロックを解除します。ガンの引き金を引いて詰まりを除去します。



ti13033b

2. 引き金ロックを掛けます。Switch Tip を元の位置に戻します。引き金ロックを解除してスプレーを続行します。



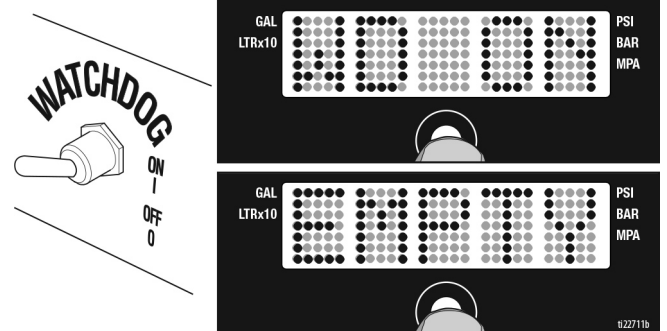
ti13033b

WatchDog™ 保護 シ ス テ ム (ProContractor および Ironman モデルのみ)

材料ペール缶が空の場合、ポンプは自動停止します。

変更をアクティブにするには:

1. 始動を実行します。
2. WatchDog スイッチをONにすると **WD ON** が表示されます。**EMPTY** が表示されるか、またはフラッシュしWatchDog保護システムによりマテリアル缶が空であることが検出されるとポンプが停止します。



3. WatchDog スイッチを OFF にします。マテリアルを追加するか、またはスプレーヤを再プライムします。ポンプスイッチをオフにした後オンにし、WatchDog 保護システムをリセットします。再度 WatchDog スイッチをオンにしてマテリアルのレベルをモニタします。



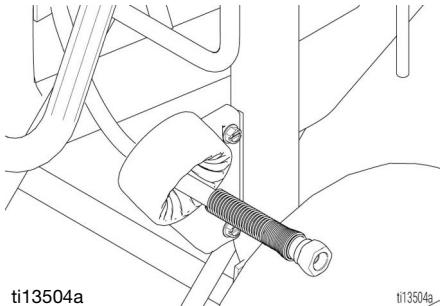
ti22712a

QuikReel™

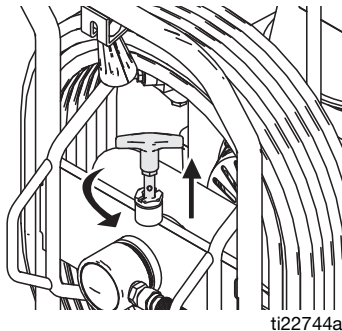
(ProContractor モデルのみ)



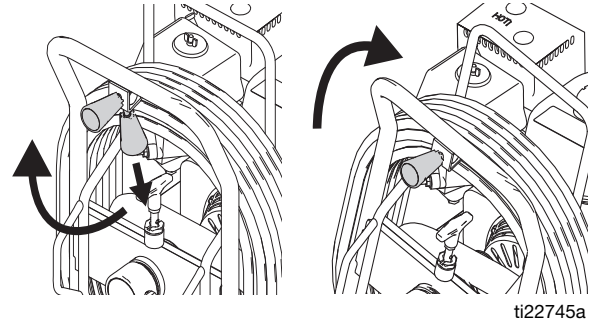
1. ホースがホースガイドを通っていることを確認します。



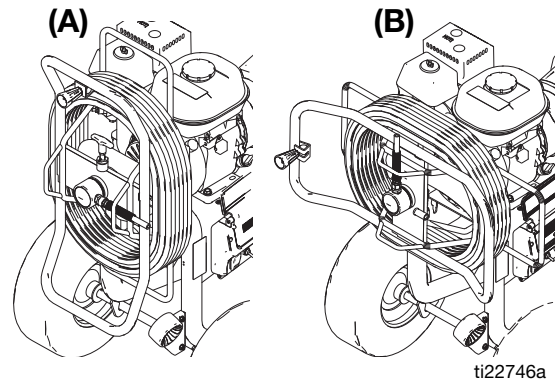
2. ピボットロックを持ち上げて 90 回転させてホースリールのロックを解除します。ホースを引っ張って、ホースリールから取り外します。



3. リールハンドルを下げて外側に動かします。時計回りに回してホースを巻きます。



注: ホースリールは、2つの位置でロックすることができます。使用 (A) および保管 (B)。

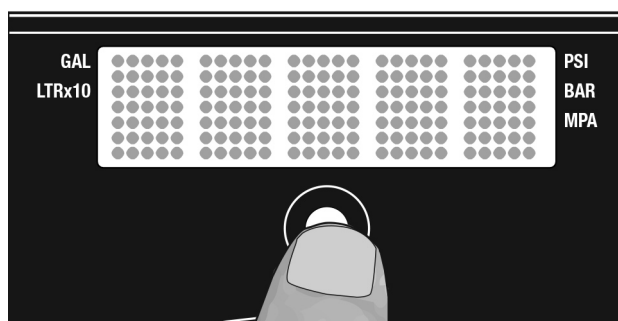


LED ディスプレイ

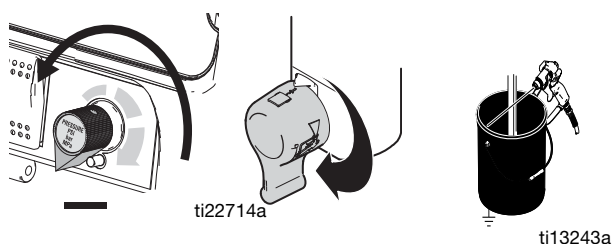
(ProContractor および Ironman ユニット)

操作メインメニュー

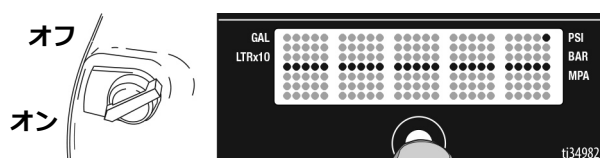
短時間押すと、次の画面に移動します。単位の変更またはデータのリセットを行うには、(5 秒間)押し続けます。



1. 圧力を最低設定にします。ガンの引き金を引いて圧力を開放します。プライムバルブを「ドレイン」の位置に下げます。

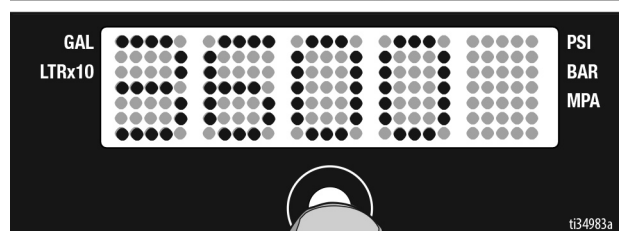
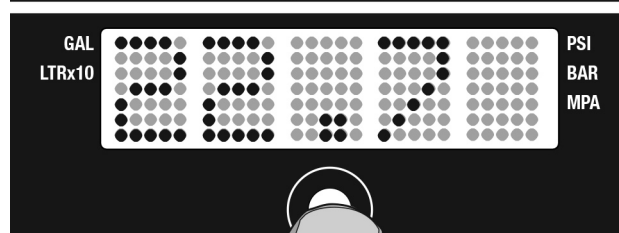
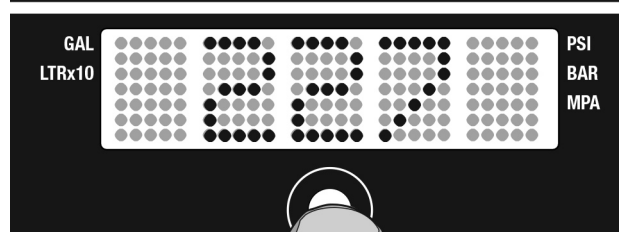
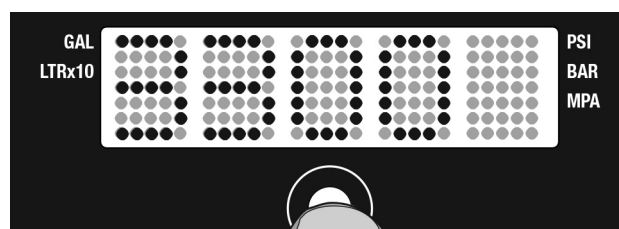


2. 電源をオンにします。圧力ディスプレイが表示されます。圧力が 1.4 MPa (14 bar、200 psi) より低くならない限り計器盤は表示されません。



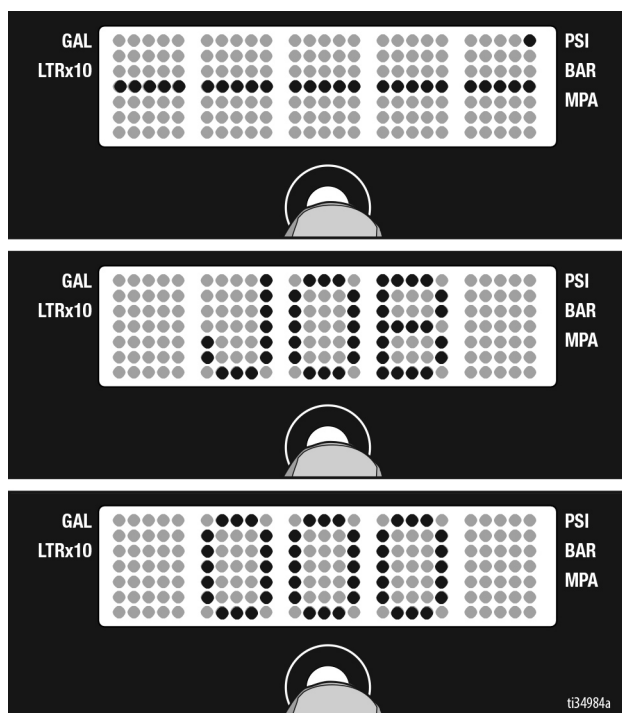
表示単位の変更

DISPLAY ボタンを 5 秒間押し続け、圧力単位 (psi, bar, MPa) を希望の単位に変更します。「bar」または「MPa」を選択すると、**ガロンからリットル x 10**に変更されます。表示単位を変更するには、**DISPLAY** が圧力表示モードになっており、かつ圧力がゼロである必要があります。



ジョブガロン

1. ジョブガロン (またはリットル x 10) に移動するには、**DISPLAY**ボタンを短時間押します。

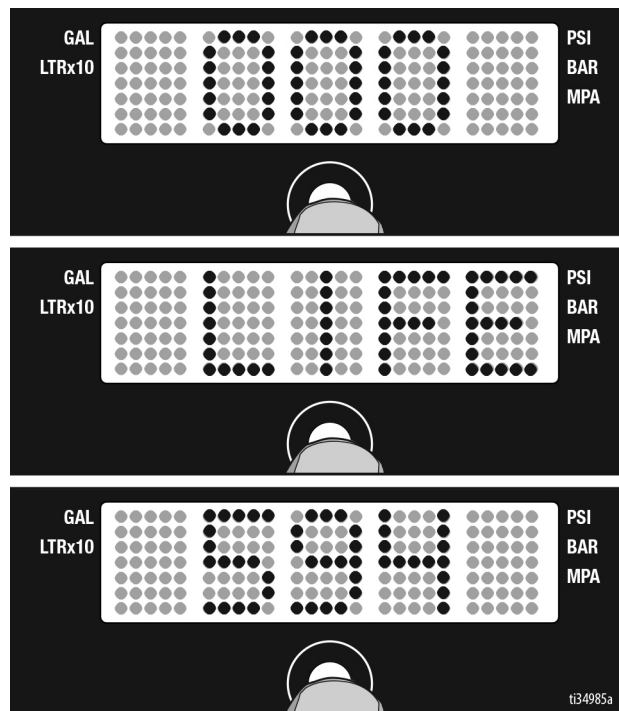


注： **JOB** という文字がスクロールされた後、7 MPa (70 bar、1000 psi)以上でスプレーされたガロン数が表示されます。

ライフタイムガロン

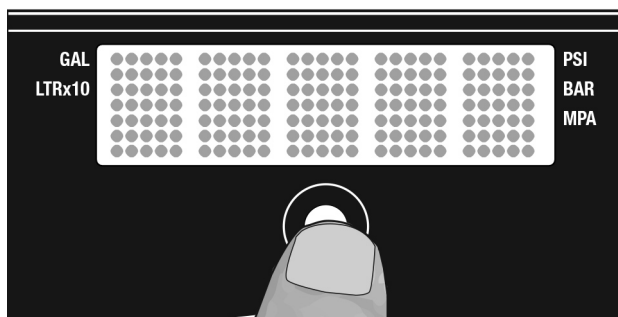
1. ライフタイムガロン(またはリットル x 10)に移動するには、**DISPLAY**ボタンを短時間押します。

注： **LIFE**という文字が短時間スクロールされた後、7 MPa (70 bar、1000 psi)以上でスプレーされたガロン数が表示されます。

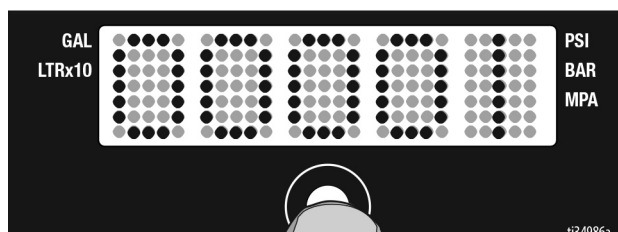
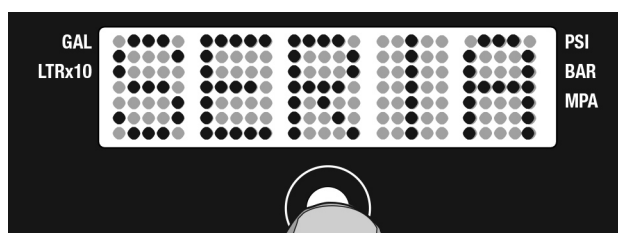


セカンダリメニュー – ストアドデータおよび WatchDog ポンプ保護モード

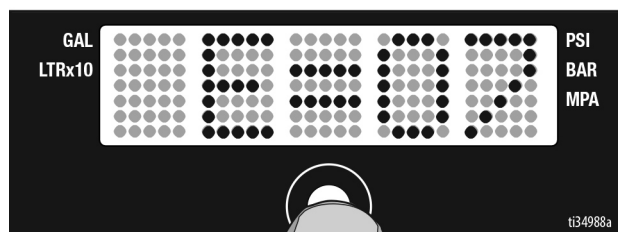
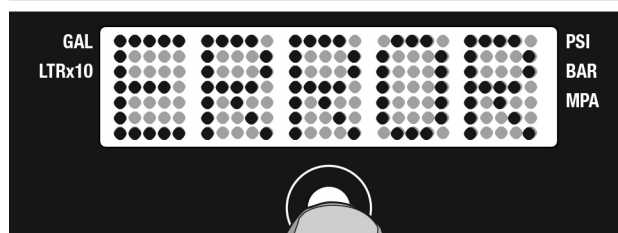
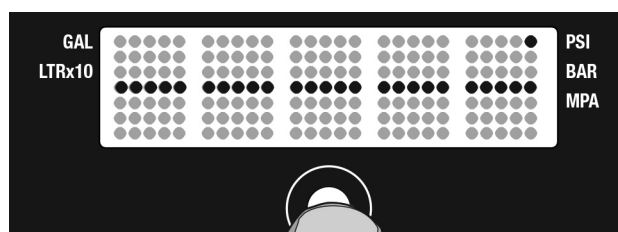
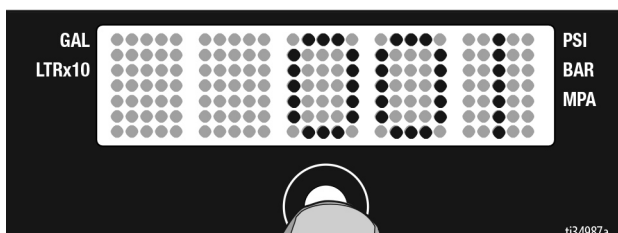
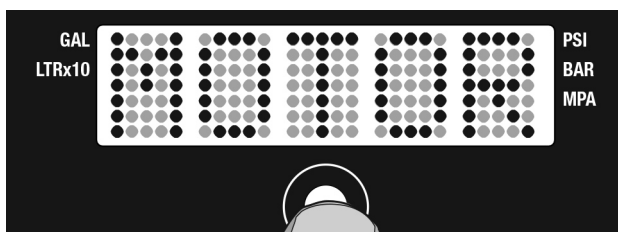
1. 圧力開放手順, ステップ1~4をまだ行っていないければ、それを行います。
2. **DISPLAY** ボタンを押した状態で電源スイッチをオンにします。
5. **DISPLAY** (表示) ボタンを短く押します。 **LAST ERROR CODE (最後のエラーコード)** という文字が画面をスクロールし、最後のエラーコードが表示されます (例、**E=07**)。詳しい情報については、スプレーヤー修理説明書をご覧ください。



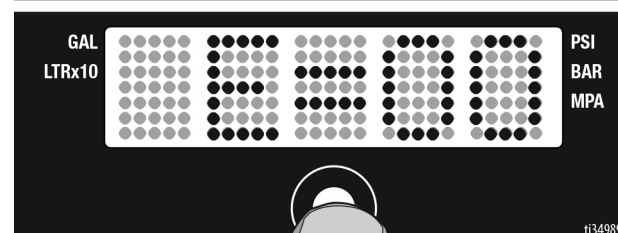
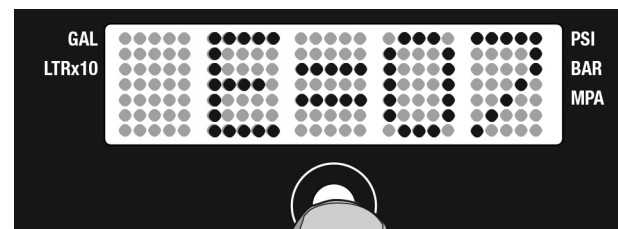
3. スプレーヤモデルは、簡単に表示され (たとえば **5900**)、**シリアルナンバー** という文字がスクロールされた後、シリアルナンバー (たとえば 00001) が表示されます。



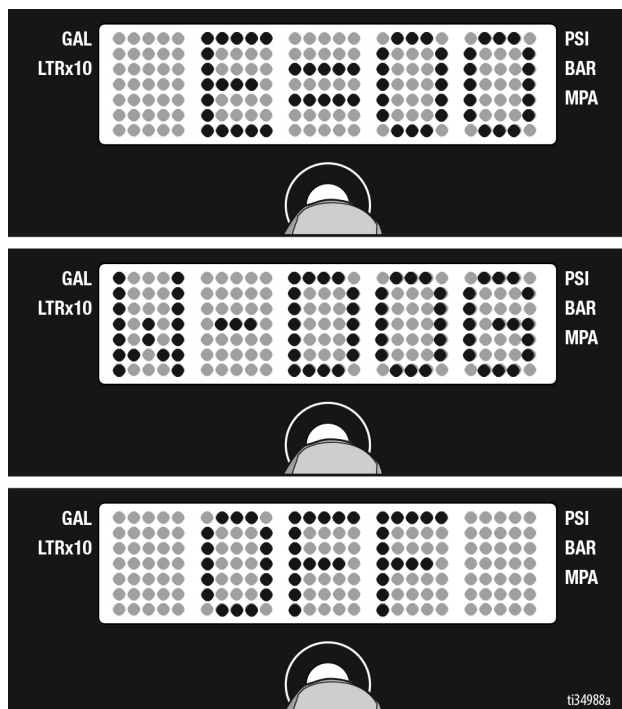
4. **DISPLAY** ボタンを短時間押すと、**MOTOR ON** という文字が画面をスクロールした後、モータの合計駆動時間が表示されます。



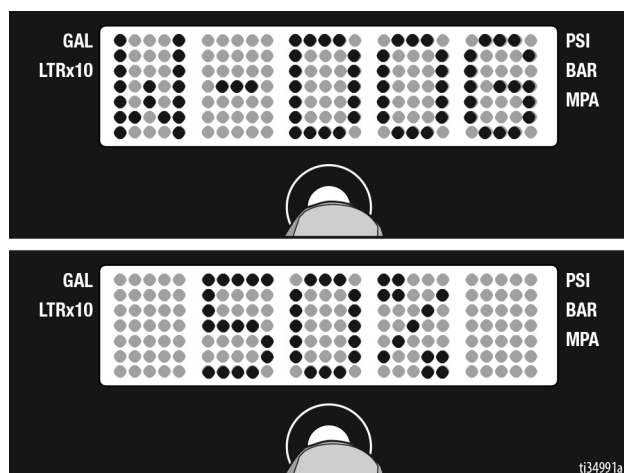
6. **DISPLAY** ボタンを押した状態でエラーコードをゼロにしてクリアします。



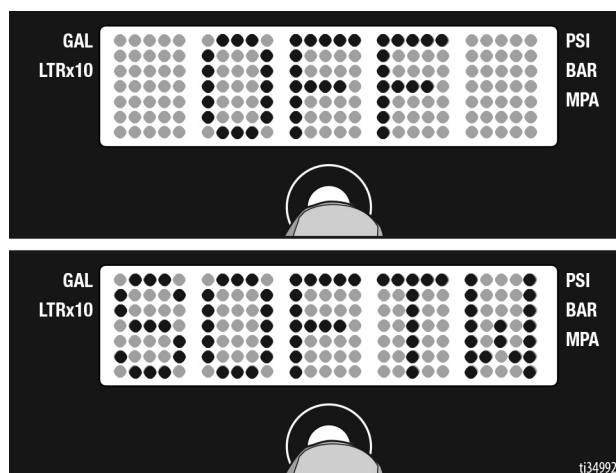
7. **DISPLAY(表示)** ボタンを短く押します。**W-DOG** という文字がスクロールされた後、「Watchdog」スイッチがオフの場合、**OFF (オフ)** が表示されます。「Watchdog」スイッチがオンの場合、**ON (オン)** が表示されます。



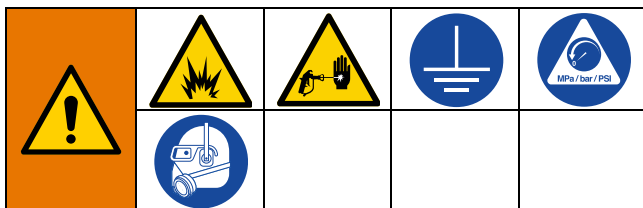
8. **DISPLAY** ボタンを短押しをし、「WatchDog」感度メニューに移動します。**DISPLAY** ボタンを押して保持します。ウォッチドッグは低、中、高感度に設定できます。所望の感度設定が表示されたら、**DISPLAY** ボタンを離します。



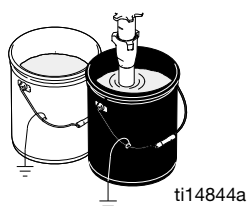
9. **SOFTWARE REV** に移動するには、ボタンを短時間押します。



クリーンアップ



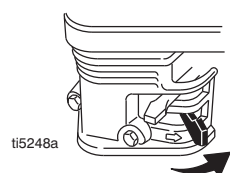
1. 圧力解放手順、13 ページ、ステップ 1～4 を実行します。塗料からサイフォンチューブを取り出し、洗浄用液体の中に入れます。ガンからチップガードを外して下さい。



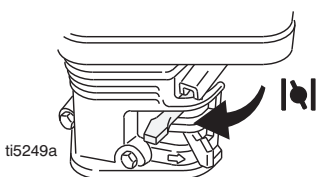
注: 水生塗料には水を、油性塗料にはミネラルスピリットを、または製造元によって推奨された他の溶剤を使用します。

2. エンジンを始動させます。

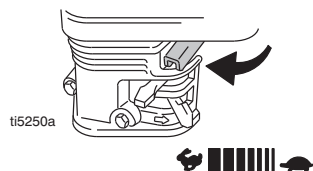
- a. 燃料バルブを「開」の位置にします。



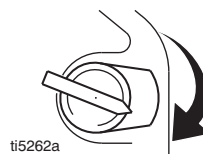
- b. チョークを「閉」の位置にします。



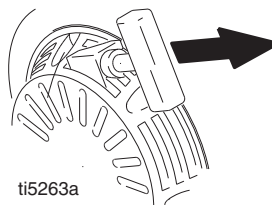
- c. スロットルを「高速」の位置まで回します。



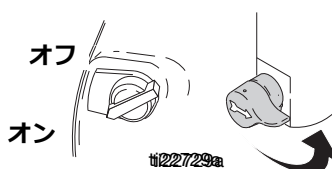
- d. エンジンスイッチをオンにします。



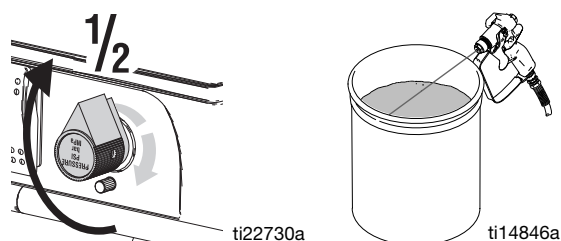
3. ロープを引っ張ってエンジンを始動させます。



4. ポンプスイッチを**ON**にします。プライムバルブを「スプレー」位置まで前に回します。



5. 圧力を1/2に上げます。ガンを容器に向けて握ります。引き金ロックを解除します。洗浄液が出てくるまでガンの引き金を引きます。

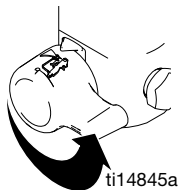


6. ガンを廃液容器のところにまで行き、ガンを容器に向けて引き金を引き、システムを完全に洗浄します。引き金を解放し、次に引き金ロックを掛けます。

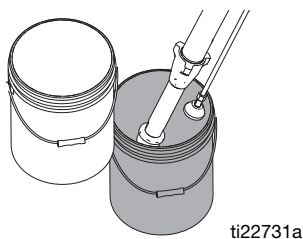


7. プライムバルブを「ドレン」位置まで下げて、洗浄液が清浄に見えるまで洗浄液を循環させます。

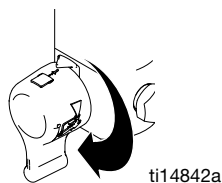
8. プライムバルブを「スプレー」位置まで前に回します。洗浄用容器に向けてガンの引き金を引き、ホース内の液体を排出します。



9. サイフォンチューブを洗浄用液体から引き上げ、スプレーヤを 15 から 30 秒間作動させ、液体を排出します。ポンプのスイッチを回しエンジンをオフにします。

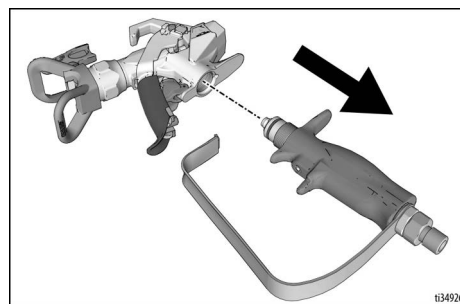


10. プライムバルブを「ドレイン」位置に下げます。



- a. 燃料バルブを閉位置に動かします。

11. フィルタが装着されている場合は、ガンおよびスプレーヤから取り外します。清掃し、点検します。フィルタを取り付けます



12. 水で洗浄した場合は、軽油で再洗浄、またはポンプ外装を再洗浄して、凍結腐食防止用保護コーティングを取り除いてください。

13. スプレーヤー、ホースおよびガンを水または軽油を染み込ませた雑巾で拭きます。



メンテナンス

修理手順を実行する前に、**圧力開放手順**、13 ページを実行してください。

注: エンジンの保守および仕様の詳細については、付属の別冊ホンダエンジン取扱説明書を参照してください。

毎日: エンジンオイル量を点検し、必要に応じ注油します。

毎日: ホースに摩耗および損傷がないか点検します。

毎日: すべてのホース取り付け金具が固定されていることを点検します。

毎日: ガンの安全装置が正常に動作するか点検します。

毎日: ガンの圧カドレンバルブが正常に動作するか点検します。

毎日: ガスタンクを点検し注油します。

毎日: 排気ポンプパッキンナットの TSL レベルを点検します。必要に応じナットに注入します。ナットの TSL 量を維持し、ピストンロッドへの液体沈着、パッキンの早期磨耗およびポンプの腐食を防ぎます

供用開始から 20 時間後:

エンジンオイルを排出し、汚れていないオイルを注入します。正しい油粘度についてはホンダエンジン取扱説明書を参照してください。

毎週: エンジンエアフィルタカバーおよびクリーンエレメントを外します。必要に応じエレメントを交換します。異常にほこりっぽい環境で運転する場合: フィルターを毎日点検し、必要な場合交換します。

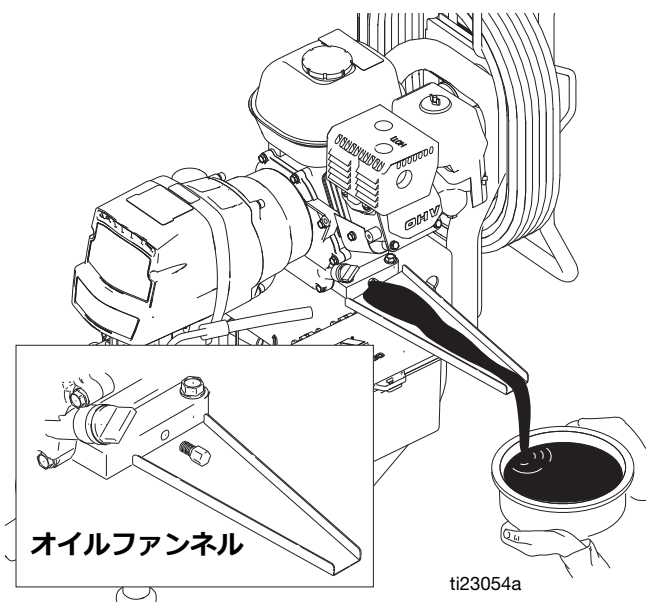
交換用エレメントはお近くのホンダ販売代理店よりご購入頂けます。

運転開始から 100 時間後:

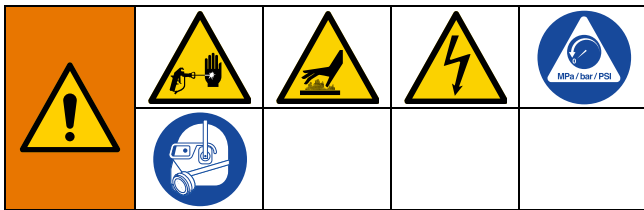
エンジンオイルを交換します。正しい油粘度についてはホンダエンジン取扱説明書を参照してください。

スパークプラグ: BPR6ES (NGK) または W20EPR-U (日本電装) プラグのみを使用してください。プラグに 0.7 ~ 0.8 mm (0.028 ~ 0.031 インチ) のギャップを作ります。プラグの取り付けおよび取り外しの際は、スパークプラグレンチを使用して下さい。

オイルを排出する場合、付属のエンジンオイルファンネルを使用するようにして下さい。



トラブルシューティング



道具の点検や修理の前に、**圧力開放手順**(13 ページ)に従ってください。

注: 装置を分解する前に、すべての考えられる問題と原因を確認してください。

問題	原因	解決策
E=XX が表示されます。	故障しています。	表から故障の解決法を決定します。35 ページを参照してください。
エンジンが始動しない。	エンジンスイッチがOFFです。	エンジンスイッチをオンにします。
	エンジンはガソリン切れです。	ガスタンクに再注油してください。ホンダのエンジン説明書を参照してください。
	エンジンオイル量が少ない。	エンジンを始動してみます。必要な場合は、オイルを再充填してください。ホンダのエンジン説明書を参照してください。
	スパークプラグが外れているか、または破損している。	スパークプラグケーブルを接続するか、またはスパークプラグを交換します。
	エンジンが冷たい。	チョークを使用します。
	燃料シャットオフレバーがオフになっている。	レバーをオンの位置にします。
WatchDog システムのミストリップ EMPTY が表示されます。ポンプが作動しません。	WatchDogパラメータ範囲外の運転状態 ポンプ出力が低い。	圧力を下げます。WatchDog パラメータの調整に関しては、Graco テクニカルサポートにお問い合わせ下さい WatchDogが有効でない状態で操作します (操作説明書を参照してください)。
	29 ページの記載の、ポンプの出力が低い。	

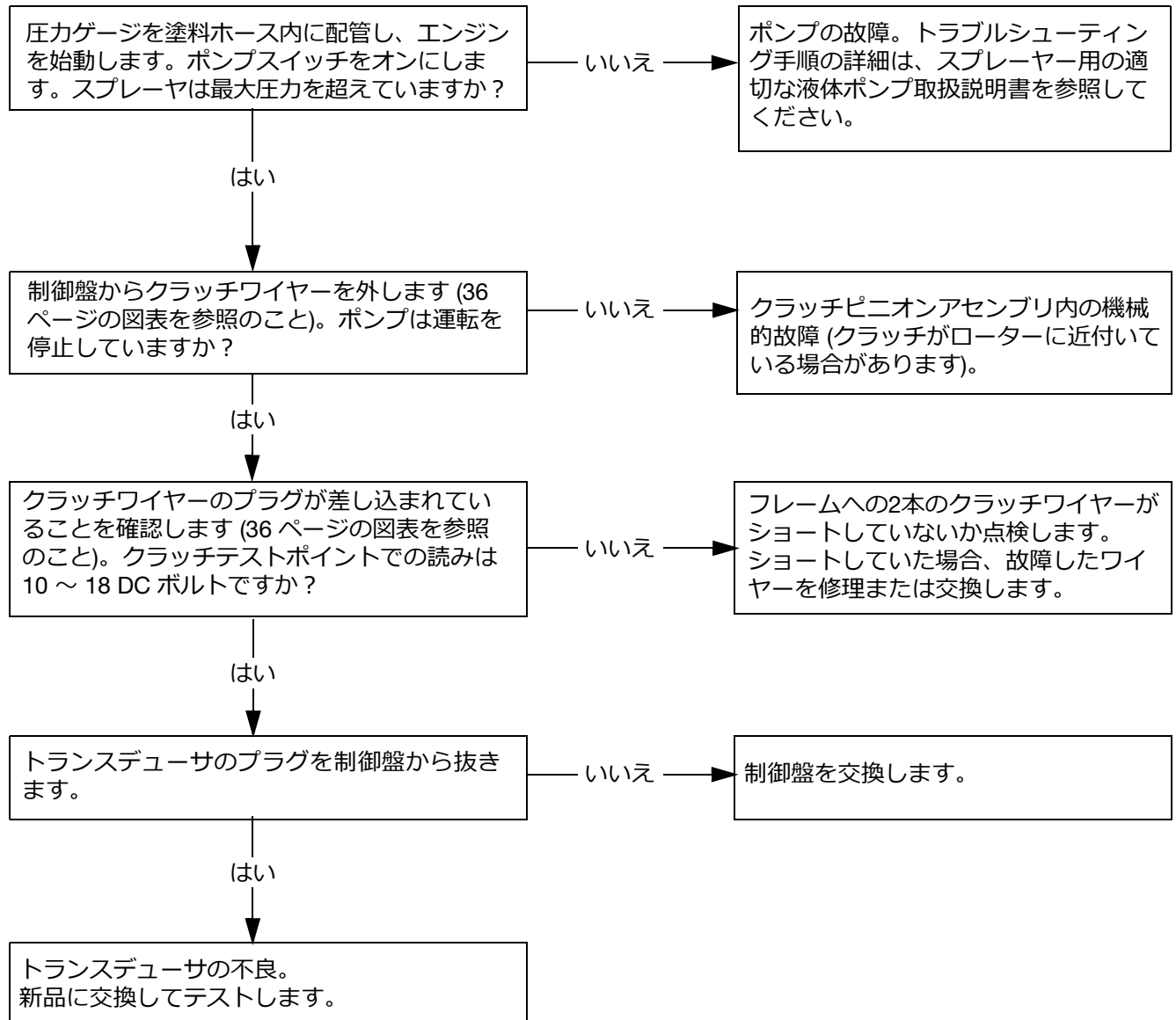
問題	原因	解決策
エンジンは動作するが、容積型ポンプが動作しない	エラーコードが表示される。	LED ディスプレイのメッセージ 、38 ページをご覧ください。
	ポンプスイッチがオフになっている。	ポンプスイッチをオンにします。
	圧力設定が低過ぎる。	圧力調整ノブを時計方向に回し、圧力を上げます
	液体フィルタが汚れている。	フィルターを清掃します。
	チップまたはチップフィルターが詰まっている。	チップまたはチップフィルタを清掃します (ガンの取扱説明書を参照のこと)。
	乾燥した塗料排気でポンプピストンロッドが詰まっている。	ポンプを修理します (ポンプ説明書を参照のこと)。
	接続用ロッドが磨耗または損傷している。	部品の説明書を参照してください。
	ドライブハウジングが磨耗または損傷している。	部品の説明書を参照してください。
	電力がクラッチフィールドに供給されていない。	部品の説明書を参照してください LED ディスプレイのメッセージ 、38 ページをご覧ください。 ポンプスイッチをオンにした状態で圧力を最高にし、デストライトを使用して制御盤上のクラッチテストポイント間の電源を調べます。 制御盤からクラッチワイヤーを外して、クラッチコイル間の抵抗を測定します。70° F、抵抗は 1.2 +/- 0.2 Ω (3900 モデル)、1.7 +/- 0.2 Ω (5900/7900 モデル) の間でなければなりません。 圧力制御の点検は認定 Graco 販売代理店が行います。
	クラッチが磨耗または損傷しているか、または位置が正しくない。	クラッチを調整または交換してください。39 ページを参照してください。
	ピニオンアセンブリが磨耗または損傷している。	ピニオンアセンブリを修理または交換します。39 ページを参照してください。
ポンプの出力が低い	ストレーナが詰まっている。	ストレーナの汚れを除去します。
	ピストンボールが固定されていない。	ピストンボールを整備します (ポンプの取扱説明書を参照のこと)。
	ピストンパッキンが磨耗または損傷している。	パッキンを交換します (ポンプの取扱説明書を参照のこと)。
	ポンプの O リングが磨耗または損傷しています。	O リングを交換します (ポンプの取扱説明書を参照のこと)。
	吸入バルブボールが正しく固定されていない。	吸入バルブを清掃します (ポンプの取扱説明書を参照のこと)。
	吸入バルブボールが材料のため詰まっています。	吸入バルブを清掃します (ポンプの取扱説明書を参照のこと)。
	エンジンの回転数が低過ぎる。	クラッチが磨耗または損傷している。
	クラッチが磨耗または損傷している。	クラッチを調整または交換してください。39 ページを参照してください。
	圧力設定が低過ぎる。	圧力を上げます (取扱説明書を参照のこと)。
	液体フィルタ、チップフィルタ、またはチップが詰まっているか汚れています。	フィルタを清掃します (ガンの取扱説明書を参照のこと)。
	粘性の高い材料を使用すると、ホースの圧力が大きく低下します。	大きな直径のホースを使用するかまたはホース長を短くするか、またはその両方を行います。1/4 インチで 100 ft より長いホースを使用するとスプレーヤの性能が著しく低下します。最適な性能を得るには、3/8 インチのホースを使用します (最小 50 ft)。

問題	原因	解決策
スロットパッキンナットへ塗料が過度に漏れる	スロットパッキンナットが緩んでいる。	スロットパッキンナットスペーサーを外します。漏れが止まる程度までスロットパッキンナットを締めます。
	スロットパッキンナットが磨耗または損傷している。	パッキンを交換します (ポンプの取扱説明書を参照のこと)。
	排水ロッドが磨耗または損傷している。	ロッドを交換します (ポンプの取扱説明書を参照のこと)。
ガンから液体が出ている	ポンプまたはホース内に空気が入っている。	すべての接液部を点検し、しっかりと締めます。ポンプの再プライムを行います (ポンプ説明書を参照のこと)。
	チップの一部が詰まっている。	チップを清掃します (ポンプ説明書を参照のこと)。
	液体供給元の量が少ないか、空になっている。	液体供給を再充填します。ポンプのプライムを行います (ポンプ説明書を参照のこと)。液供給の点検回数を増やし、空の状態のポンプを運転しないようにします。
ポンプのプライムが困難	ポンプまたはホース内に空気が入っている。	吸入接続部を点検し、しっかりと締めます。 エンジン回転数を下げ、プライミング中は可能な限りポンプをゆっくり回転させます。
	吸入バルブに漏れがある。	吸入バルブの汚れを除去します。ボールシートに切れ目や摩耗がなく、ボールが適切に取りつけられていることを確認します。バルブを再組立します。
	ポンプパッキンが磨耗しています。	ポンプパッキンを交換します (ポンプ取扱説明書を参照のこと)。
	エンジン回転数が高過ぎる。	ポンプのプライムの前にスロットル設定を下げます (取扱説明書を参照のこと)。
クラッチを使用する度にクラッチが軋む	両面のかみ合い不良のため、新しいクラッチ表面でノイズが発生する場合があります。	クラッチ表面を磨耗させる必要があります。運転開始から1日後にはノイズは出なくなります。
エンジンの無負荷回転数が高い	スロットル設定の調整不良。	スロットルを無負荷 3300 エンジン rpm に再設定します。
	エンジンガバナが磨耗している。	エンジンガバナの交換またはサービス作業を行います。
ガロンカウンタが動作していない	センサの不良、配線の破損や切断 マグネットの移動、または紛失	接続を確認してください。センサーまたは配線を交換します。マグネットを元の位置へ戻すかまたは交換します。
表示がない状態で、スプレーヤが動作	ディスプレイが損傷しているか、または接続不良です。	接続を確認してください。ディスプレイを交換します。

液体ポンプの常時運転

1. 圧力開放手順 (13 ページ) を実施し、プライムバルブを「スプレー」位置に回して、電源スイッチをOFFにします。
2. 制御ボックスのカバーを取り外します。

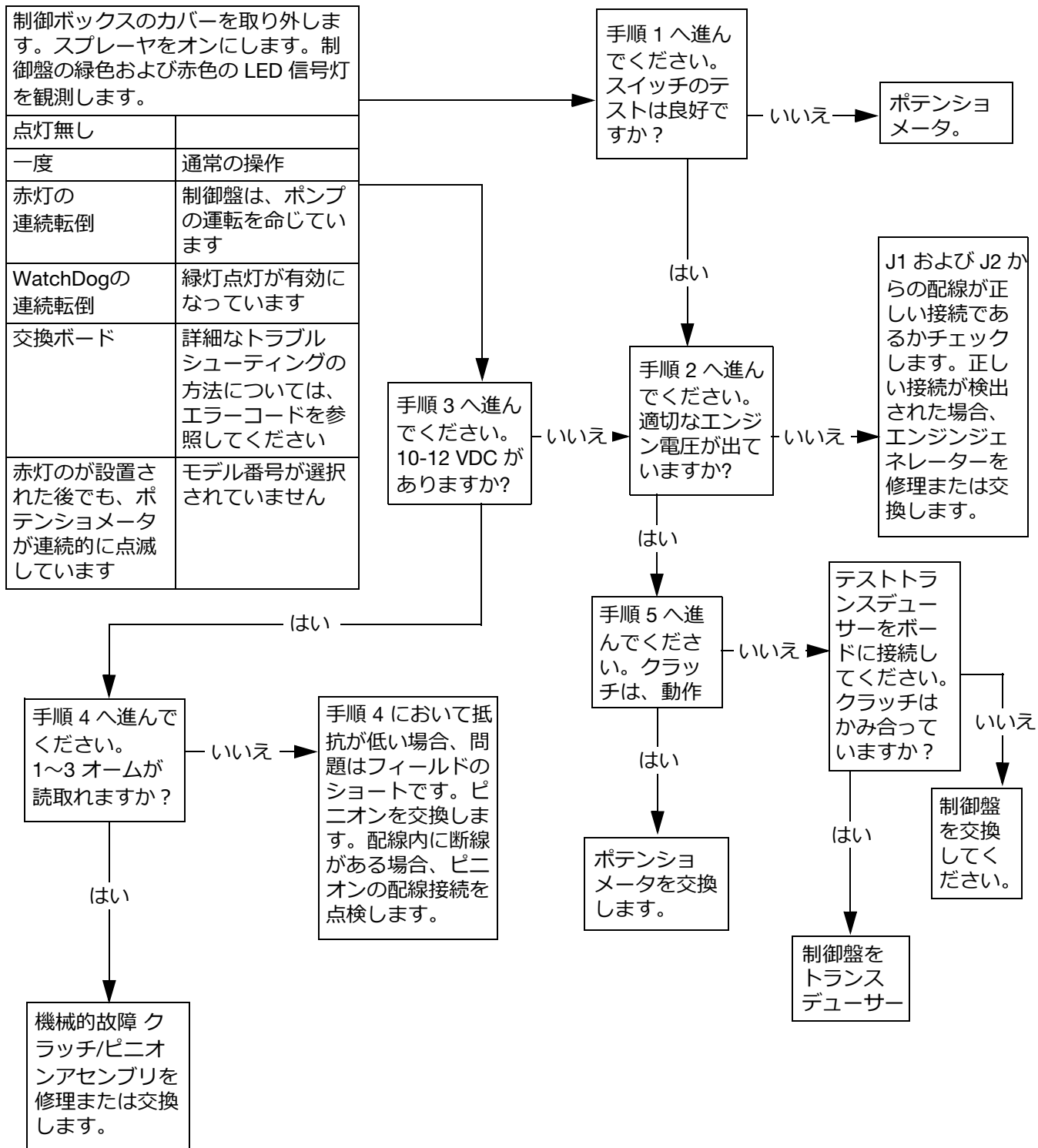
トラブルシューティング手順：



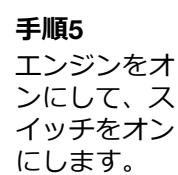
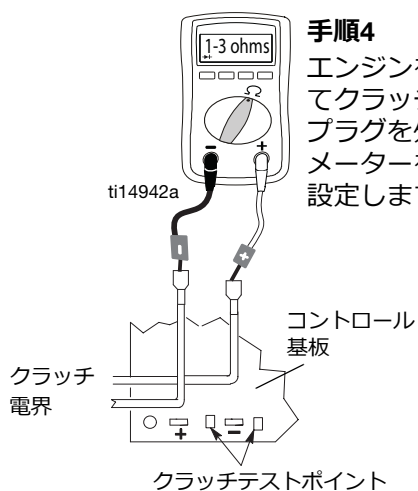
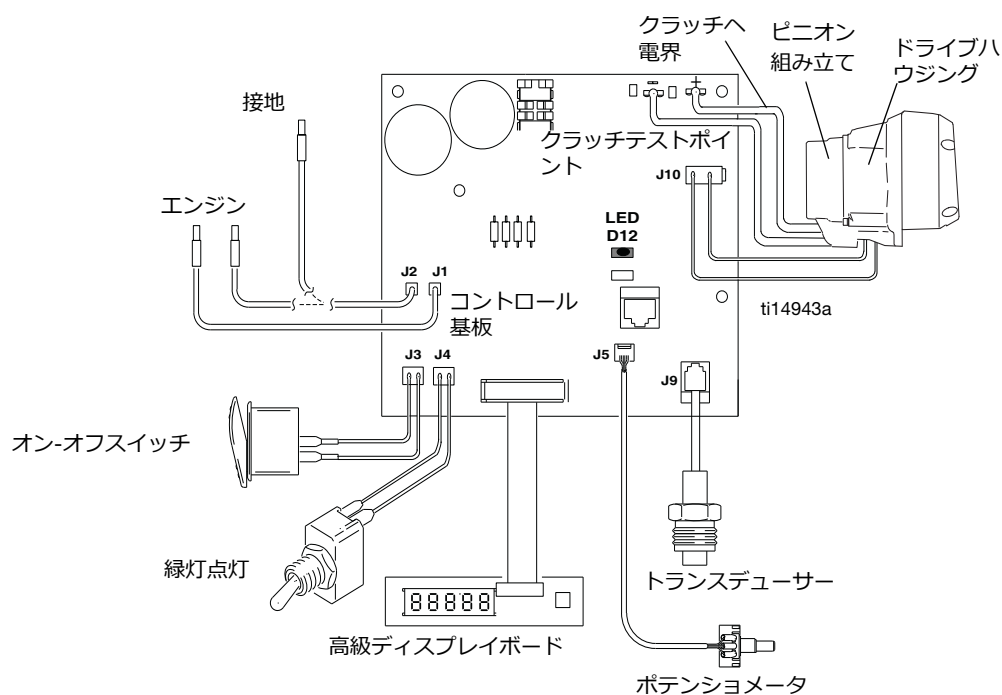
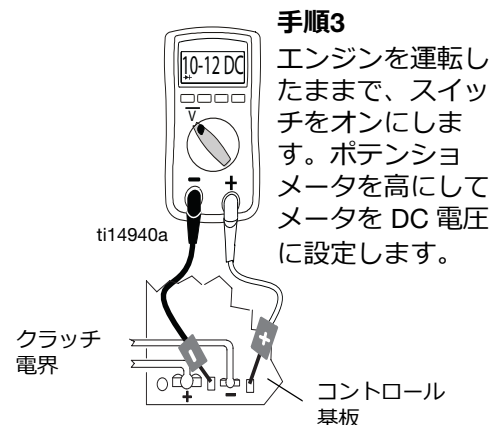
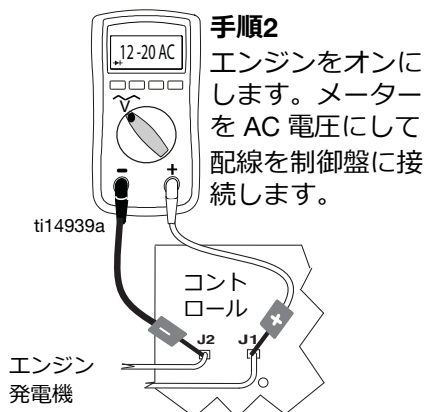
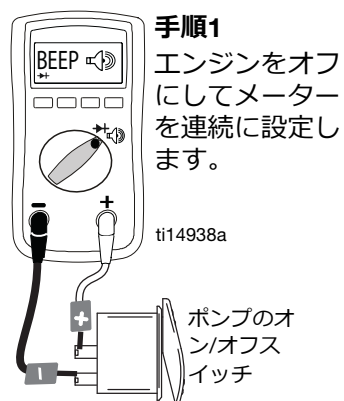
制御盤の誤動作

トラブルシューティング手順

(実際のステップについては以下のページを参照して下さい) :



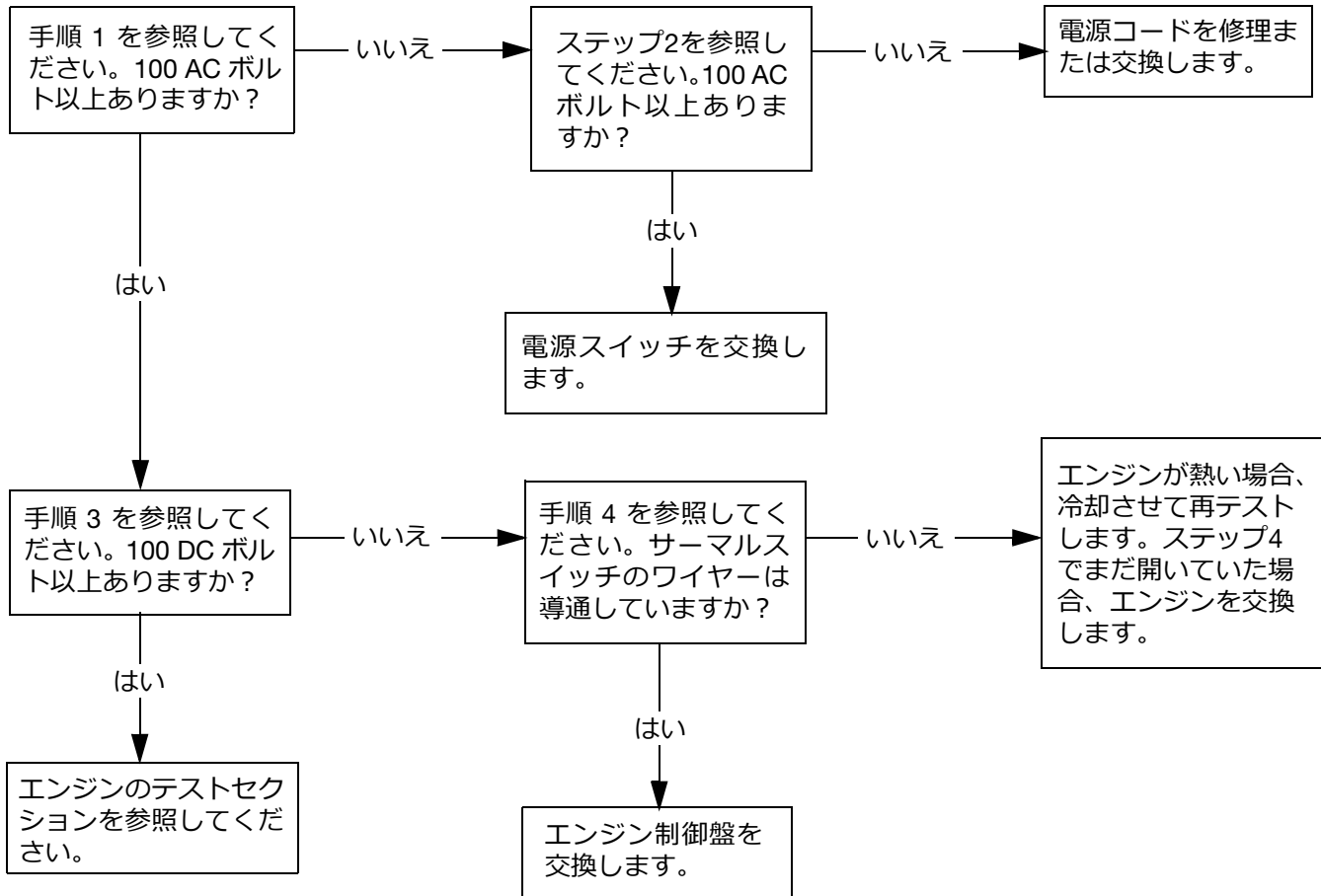
制御盤の誤動作 (ステップ)



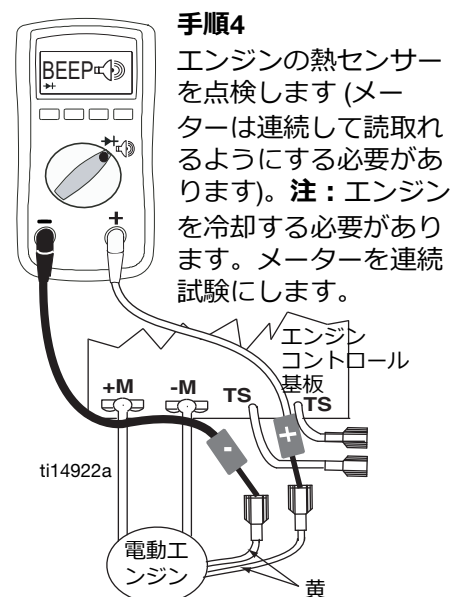
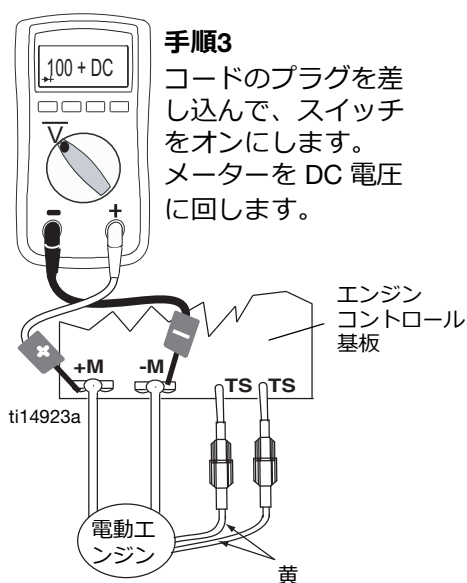
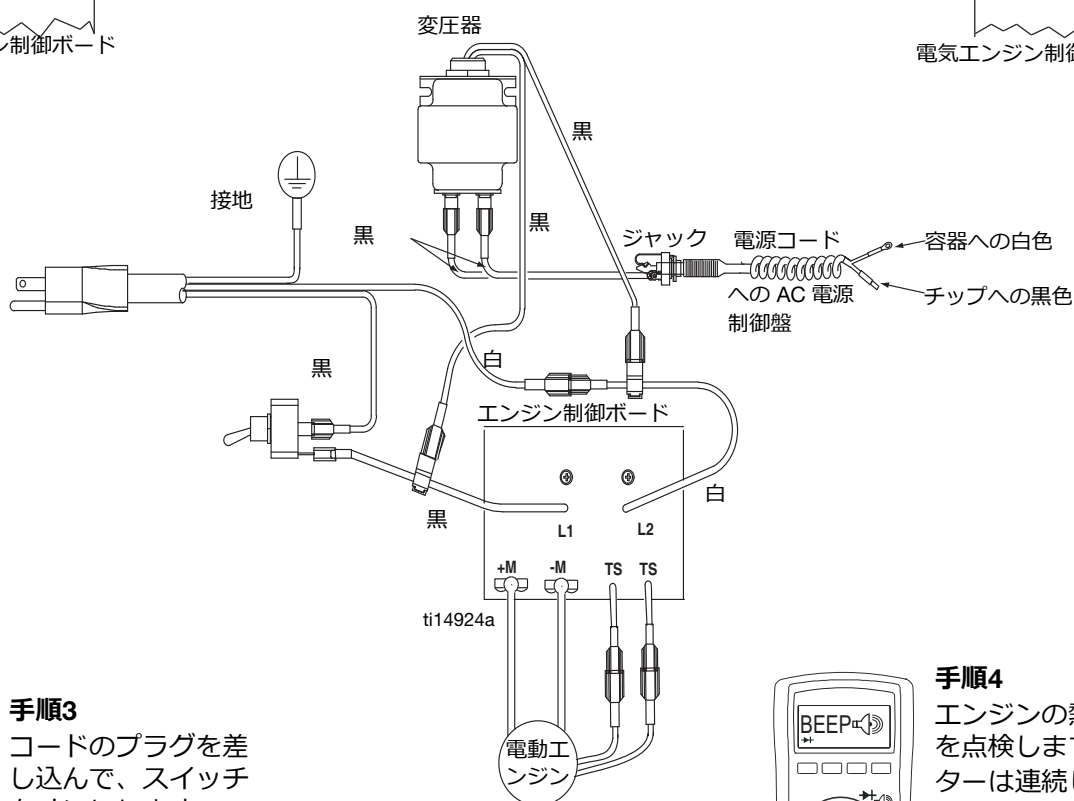
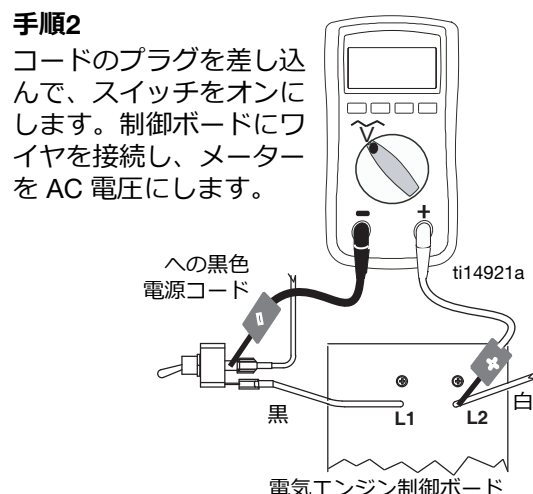
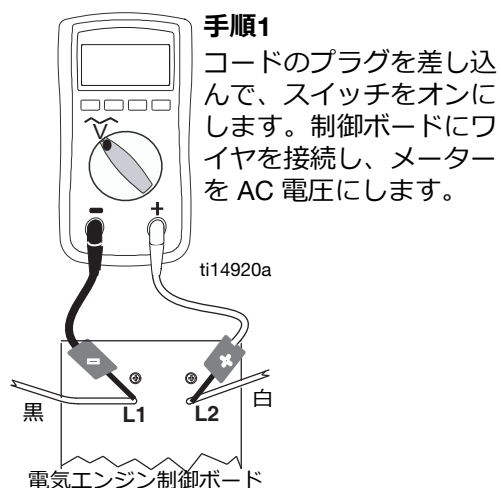
コンバーチブル電気モーターが動作しません

トラブルシューティング手順

(実際のステップについては以下のページを参照して下さい) :



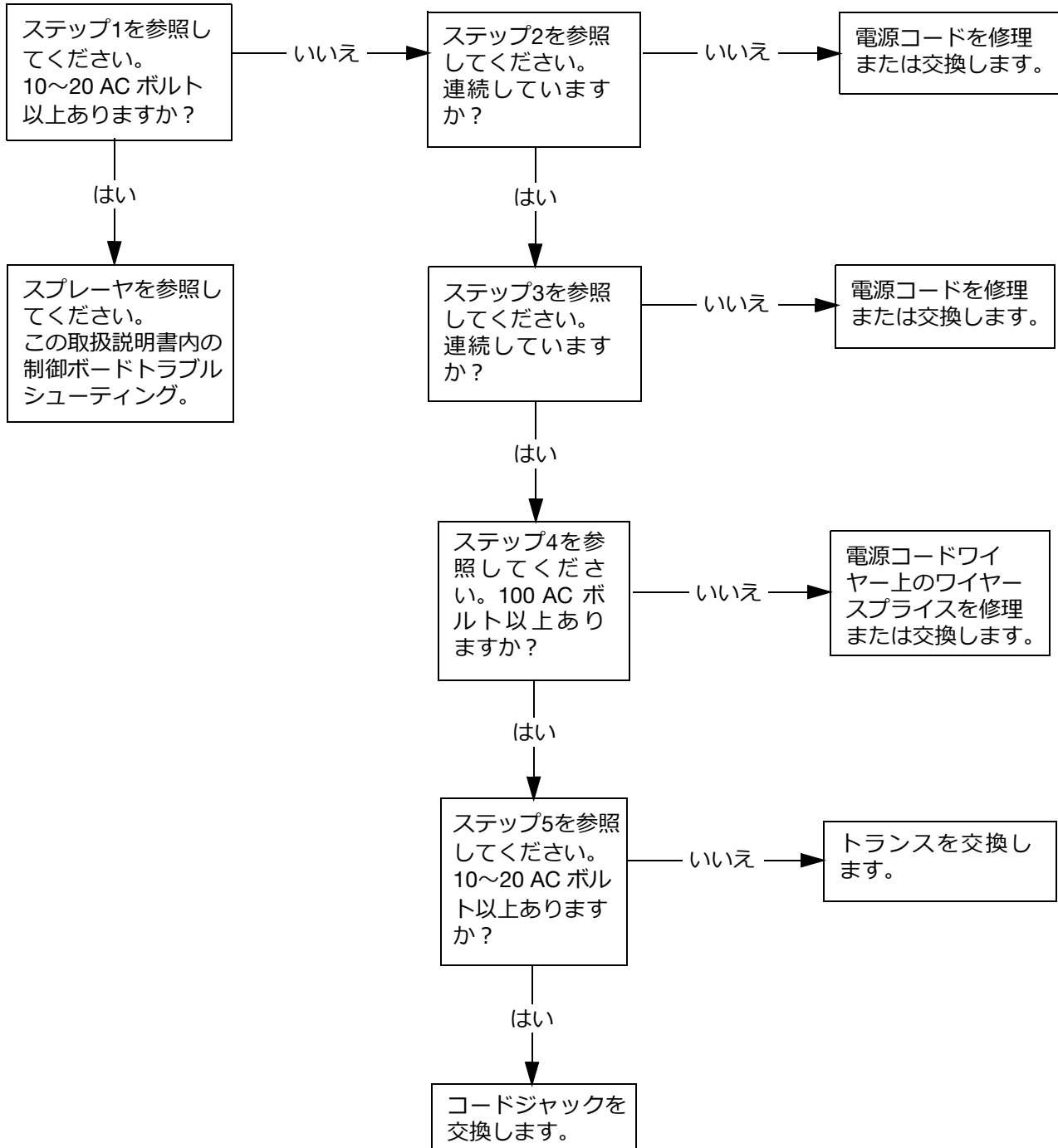
コンバーチブル電気モーターが作動しません (ステップ)



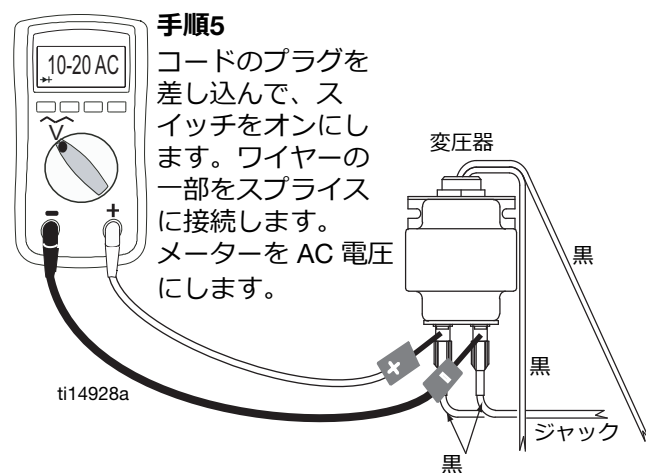
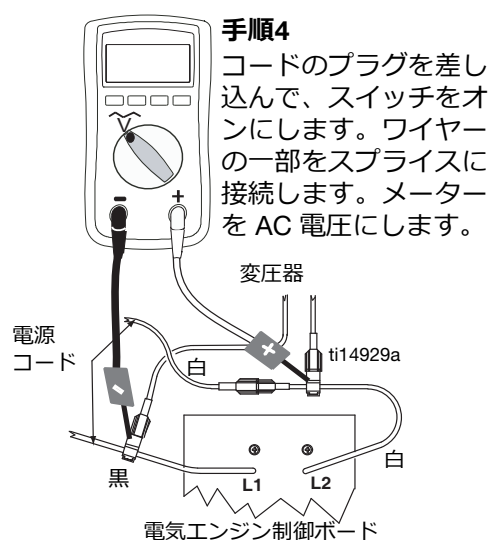
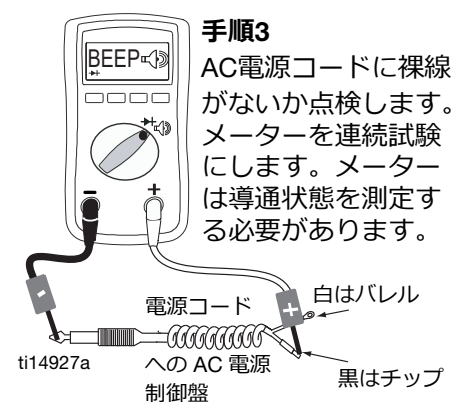
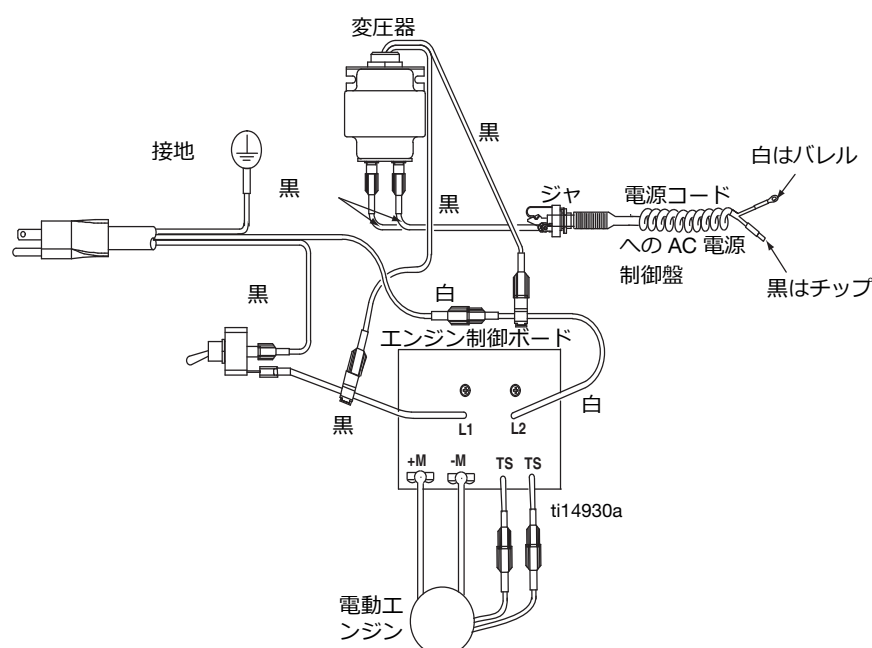
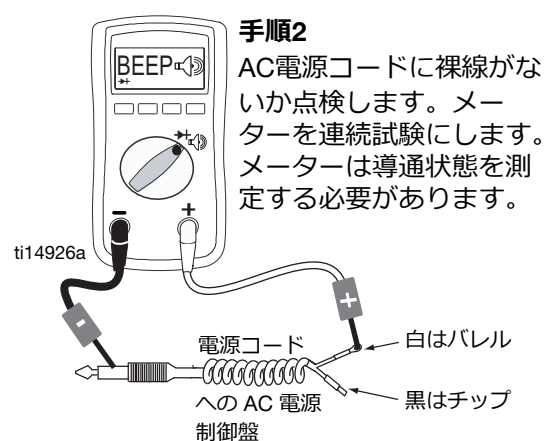
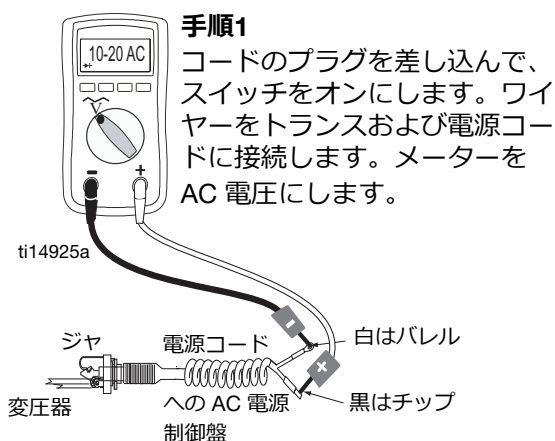
コンバーチブル電気モーターの運転 - スプレーヤ制御ボードに AC出力がない

トラブルシューティング手順

(実際のステップについては以下のページを参照して下さい) :



コンバーチブル電気モーター運転 - スプレーヤ制御ボード (ステップ) へのAC出力がありません



LED ディスプレイのメッセージ

- 表示メッセージは、すべてのスプレーヤで使用できるわけではありません。
- LED の点滅回数はデジタルエラーコード数値を意味します。つまり、点滅2回は E=02 を表します

表示*	スプレーヤの操作	説明	対処
何も表示されない	スプレーに圧力を加える必要があるでしょう。	電源が喪失したか、またはディスプレイが接続されていません。	電源をチェックします。修理または分解前には圧力を開放して下さい。ディスプレイが接続されていることを確認します。
.....	スプレーに圧力を加える必要があるでしょう。	圧力が 200 psi (14 bar, 1.4 MPa) 以下である。	必要に応じて圧力を上昇させます。
	スプレーヤはに加圧されています。電力が供給されています。(圧力は、チップのサイズおよび圧力制御設定によって変わります)。	通常の操作	スプレー。
E=02	スプレーヤが停止します。エンジンは作動しています。	圧力上限を超過	1. フィルターの詰まりのような液路の詰まりがないことを確認します。 2. AutoClean を実行する場合は、プライムバルブおよびガンを開きます。 3. 最小 1/4 インチ x 50 ft のGraco製塗料ホースを使用します。これより小さいホースまたは金属の編み上げホースは、圧力スパイクを生じさせる場合があります。 4. 液路が詰まっておらず、かつ適切なホースが使用されている場合は、トランスデューサを交換します。
E=03	スプレーヤが停止します。エンジンは作動しています。	圧力トランスデューサの不具合、配線不良またはワイヤの破損。	1. トランスデューサーの接続を調べます。 2. トランスデューサプラグを外し、再度差し込み制御盤のソケットにしっかり接続されていることを確認します。 3. プライムバルブを開きます。スプレーヤのトランスデューサを品質の一定したトランスデューサと交換しスプレーヤを動作させます。スプレーヤが動作する場合はトランスデューサを、動作しない場合は制御盤をそれぞれ交換します。
E=05	スプレーヤが停止します。エンジンは作動しています。	クラッチ電流が大きい	1. 配線をチェックします。 2. 測定: 1.2 + 0.2 Ω (GMAX II 3900) 1.7 + 0.2 Ω (GMAX II 5900/ 7900 & TexSpray 7900HD)(70°F のクラッチフィールド全体) 3. クラッチフィールドアセンブリを交換します。
EMPTY (常時緑色 LED 点灯)	スプレーヤが停止します。エンジンは作動しています。	ポンプへ供給する塗料がないか、または極度に圧力が不足している。	1. 塗料の充填状態、インレットフィルタの詰まり、ポンプの不具合または重大な漏れをチェックします。 2. 圧力を減少させ、ポンプスイッチをオフにした後オンにしてポンプを再始動します。 3. WatchDogスイッチをオフにすると、Watch dog機能を非アクティブにすることができます。
E=07	スプレーヤが停止します。エンジンは作動しています。	圧力がフラッシュタイムモードで2000 psi (138 bar, 14 MPa)以上になる。	1. プライムバルブおよびガンを開きます。 2. フローが阻害されていないこと、およびフィルタが詰まっていないことを確認して下さい。

* エラーコードは、赤色LEDの点滅として制御ボードにも表示されます。LED の点滅によりデジタルメッセージを表示します

1. 2本のネジ (71) を取り外し、カバー (130) を外して下向きにします。
2. エンジンを始動させます。点滅回数はエラーコードの数値を意味します (E=0X)

フォルト状態になった場合、以下の手順でスプレーヤを再始動させます:

1. フォルト状態を修正します。
2. スプレーヤをオフにします。
3. スプレーヤをオンにします。

ピニオンアセンブリ/クラッチアーマチュア/クランプ



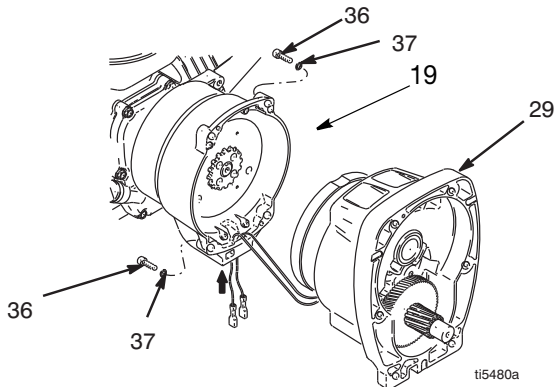
これらのタスクを実行する前に、**圧力開放手順**、13 ページを実行してください。

ピニオンアセンブリ/クラッチアーマチュアの取り外し

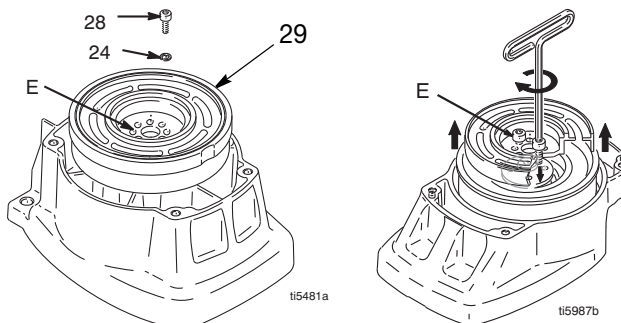
ピニオンアセンブリ

ピニオンアセンブリ (29) がクラッチハウジング (19) から取り外されていない場合は、1 から 3 を実行します。取り外されている場合は 4 から開始します。

1. ドライブハウジングを取り外します。
2. 圧力制御内部からクラッチケーブルコネクタの接続を外します。
 - a. 2 本のネジ (71) を外しカバー (130a) を開けて下向にします。
 - b. 回路版からエンジンへのリード線の接続を外します。
 - c. ストレインリリーフ 130r および 123 を取り外します。
3. 4 本のネジ (36) および ピニオンアセンブリ (29) を取り外します。

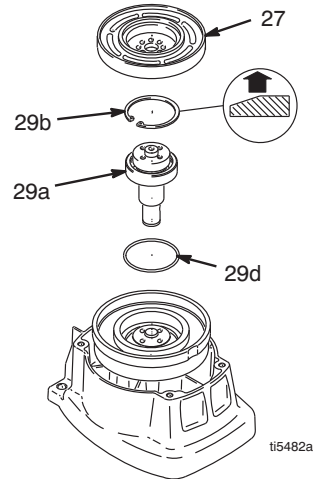


4. ピニオンアセンブリ (29) を、ロータを上にしてベンチ上に置きます。
5. 4 本のネジ (28) およびロックワッシャ (24) を取り外します。2 本のネジをロータのネジ穴 (E) に取り付けます。ロータが外れるまで交互にネジを締めます。



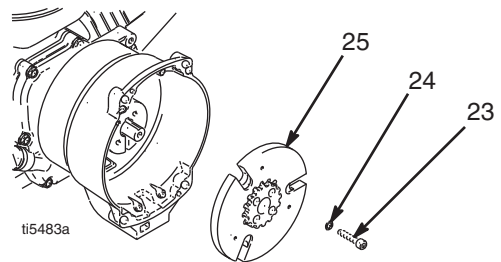
6. 保持リング (29b) を外します。

7. ピニオンアセンブリを回転させ、ピニオンシャフト (29a) をプラスチックマレットで叩きます。



クラッチアーマチュア

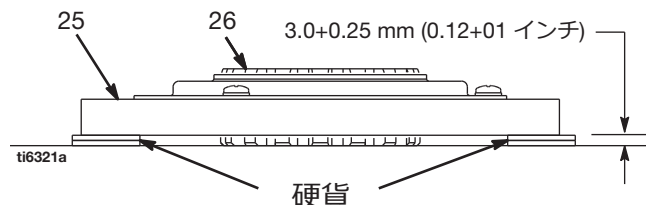
8. クラッチアーマチュア (25) とクラッチハウジングの間にインパクトレンチまたはくさび状のものを差し込んで、取り外し中にエンジン軸が支えられるようにします。
9. 4 本のネジ (23) およびロックワッシャ (24) を取り外します。
10. アーマチュアを外します。



取り付け

クラッチアーマチュア

1. 滑らかなベンチ表面上に、硬貨 2 枚を重ねたものを 2 組用意します。
2. アーマチュア (25) を 2 組の硬貨の上に置きます。
3. ハブ (26) の中央をベンチ表面に押し付けます。



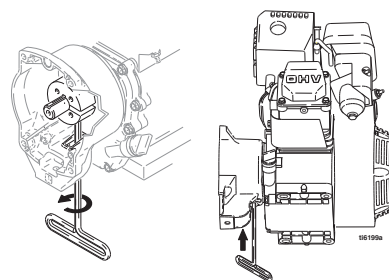
4. アーマチュア (25) をエンジンドライブ軸に取り付けます。
5. 4 本のネジ (23) およびロックワッシャ (24) を 125 in-lb のトルクで締めます。

ピニオンアセンブリ

1. O リング (29d) を点検し、取れているかまたは破損している場合は新しいものを取り付けます。
2. プラスティックマレットでピニオンシャフト (29a) を叩きます。
3. 斜めの面を上にして保持リング (29b) を取り付けます。
4. ロータを上にしてピニオンアセンブリ をベンチに取り付けます。
5. スレッドシーリング材をネジに塗布します。4 本のネジ (28) およびロックワッシャ (24) を取り付けます。ロータが固定されるまで 125 in-lb のトルクでネジを締めます。ロータはネジ穴を使用して固定します。
6. 4 本のネジ (36) およびワッシャ (37) でピニオンアセンブリ (29) を取り付けます。
7. クラッチケーブルコネクタを圧力制御内部に接続します。

クランプの取り外し

1. エンジンを取り外します。
2. ホンダの取扱説明書に従ってタンクからガソリンを排出します。
3. エンジンを傾けると、ガスタンクが下向きになりエアクリーナが上面に向きます。
4. クランプ (22) の 2 本のネジ (24) を緩めます。
5. ドライバーをクランプ (22) のスロットに差し込んで、クランプを外します。



クランプの取り付け

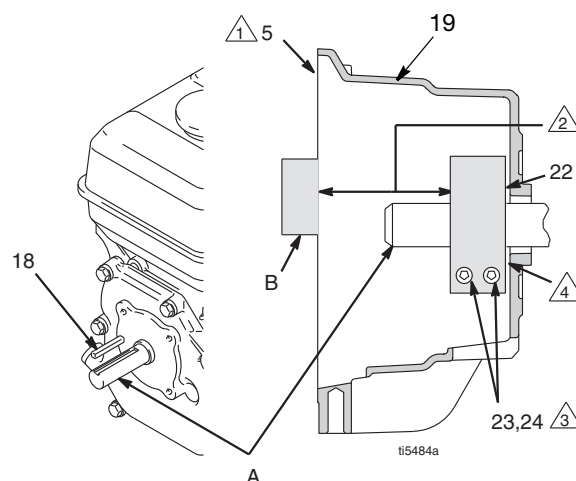
1. エンジン軸キー (18) を取り付けます。
2. クランプ (22) を叩いてエンジン軸 (A) にはめ込みます。下記注 2 に示されている寸法を維持します。溝のある側がエンジンに向いている必要があります。
3. 寸法をチェックします。クラッチハウジング (19) の表面に剛体の真っ直ぐな棒鋼 (B) を取り付けます。正確な測定器を使用して棒鋼とクランプの表面の間の距離を測定します。必要に応じてクランプを調節して下さい。2 本のネジ (24) を $14 \pm 1.1 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($125 \pm 10 \text{ in}\cdot\text{lb}$) のトルクになるまで締めます。

△1 クラッチハウジング表面

△2 $39.37 \pm .25 \text{ mm}$ ($1.550 \pm .010 \text{ インチ}$) - GMAX 3400 および 3900
 $66.34 \pm .25 \text{ mm}$ ($2.612 \pm .010 \text{ インチ}$) - GMAX 5900 および 7900

△3 $14 \pm 1.1 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($125 \pm 10 \text{ in}\cdot\text{lb}$) のトルクで締めます

△4 この面の溝



技術データ

モデル 3400		
	米国	メートル法
エンジン		
ホンダ GX120 エンジン		
スプレーヤ		
最高作業圧力	3300 psi	228 bar、22.8 MPa
最大チップサイズ	0.027	
最大放出速度	0.75 gpm	2.84 lpm
インレット塗料ストレーナ	12 メッシュ (1523 ミクロン) ステンレススチールスクリーン、再利用可能	
アウトレット塗料フィルタ	60 メッシュ (250 ミクロン) ステンレススチールスクリーン、再利用可能	
ポンプインレットサイズ	1 1/4-12 UNF-2A	
液体アウトレットサイズ	液体フィルタから1/4 npsm	
寸法		
重量:	89 lb	40.5 kg
全高 (ハンドル伸長時):	40.8 インチ	103.6 cm
全長 (ハンドル伸長時):	35.0 インチ	88.9 cm
幅:	22.3 インチ	56.6 cm
接液部品	亜鉛およびニッケルプレート炭素鋼、PTFE、ナイロン、ポリウレタン、UHMW、フルオロエラストマー、アセタール、レザー、アルミニウム、タングステンカーバイド、ステンレス鋼、クロームめっき	
騒音レベル:		
音響出力	100 dBa、ISO 3744 準拠	
音圧	86 dBa (3.1 ft で測定)	86 dBa (1 m で測定)

モデル 3900		
	米国	メートル法
エンジン		
ホンダ GX120 エンジン		
スプレーヤ		
最高作業圧力	3300 psi	228 bar、22.8 MPa
最大チップサイズ	1 ガン、0.036 インチチップ	
	2 ガン、0.023 インチチップ	
	3 ガン、0.018 インチチップ	
最大放出速度	1.25 gpm	4.73 lpm
インレット塗料ストレーナ	8 メッシュ (2589 ミクロン) ステンレススチールスクリーン、再利用可能	
アウトレット塗料フィルタ	60 メッシュ (250 ミクロン) ステンレススチールスクリーン、再利用可能	
ポンプインレットサイズ	1-5/16-12 UN-2A	
液体アウトレットサイズ	液体フィルタから1/4 npsm	
寸法		
重量:		
GMAX 3900 Standard	106 lb	48.2 kg
GMAX 3900 Lo-Boy	123 lb	55.9 kg
GMAX 3900 ProContractor	133 lb	60.5 kg
全高:		
GMAX 3900 Standard	40.8 インチ	103.6 cm
GMAX 3900 Lo-Boy	26.4 インチ	67.1 cm
GMAX 3900 ProContractor	38.3 インチ	97.3 cm
長さ:		
GMAX 3900 Standard	38.3 インチ	97.3 cm
GMAX 3900 Lo-Boy	46.9 インチ	119.1 cm
GMAX 3900 ProContractor	32.3 インチ	82.0 cm
幅:		
GMAX 3900 Standard	22.3 インチ	56.6 cm
GMAX 3900 Lo-Boy	24.4 インチ	62.0 cm
GMAX 3900 ProContractor	22.3 インチ	56.6 cm
接液部品	亜鉛およびニッケルプレート炭素鋼、PTFE、ナイロン、ポリウレタン、UHMW、フルオロエラストマー、アセタール、レザー、アルミニウム、タングステンカーバイド、ステンレス鋼、クロームめっき	
騒音レベル:		
音響出力	105 dBA、ISO 3744 準拠	
音圧	96 dBA (3.1 ft で測定)	96 dBA (1 m で測定)

モデル 5900		
	米国	メートル法
エンジン		
Honda GX160 エンジン		
スプレーヤ		
最高作業圧力	3300 psi	228 bar、22.8 MPa
最大チップサイズ	1 ガン、0.043 インチチップ	
	2 ガン、0.029 インチチップ	
	3 ガン、0.023 インチチップ	
	4 ガン、0.019 インチチップ	
最大放出速度	1.6 gpm	6.06 lpm
インレット塗料ストレーナ	8 メッシュ (2589 ミクロン) ステンレススチールスクリーン、再利用可能	
アウトレット塗料フィルタ	60 メッシュ (250 ミクロン) ステンレススチールスクリーン、再利用可能	
ポンプインレットサイズ	1-5/16-12 UN-2A	
液体アウトレットサイズ	液体フィルタから1/4 npsm	
液体排出口サイズ (5900 IronMan、5900HD)	液体フィルタから3/8 npsm	
寸法		
重量:		
GMAX 5900 Standard	138 lb	62.7 kg
GMAX 5900 Lo-Boy	144 lb	65.5 kg
GMAX 5900 ProContractor	160 lb	72.7 kg
GMAX 5900 Convertible, Standard	167 lb	75.9 kg
GMAX 5900 IronMan	147 lb	67.1 kg
TexSpray 5900HD ProContractor	164 lb	74.5 kg
TexSpray 5900HD Standard	142 lb	64.5 kg
全高:		
GMAX 5900 Standard	40.5 インチ	102.9 cm
GMAX 5900 Lo-Boy	27.2 インチ	69.1 cm
GMAX 5900 ProContractor	38.0 インチ	96.5 cm
GMAX 5900 Convertible, Standard	43.8 インチ	111.3 cm
GMAX 5900 IronMan	40.5 インチ	102.9 cm
TexSpray 5900HD ProContractor	38.0 インチ	98.6 cm
TexSpray 5900HD Standard	40.5 インチ	102.9 cm
長さ:		
GMAX 5900 Standard	37.7 インチ	95.8 cm
GMAX 5900 Lo-Boy	46.9 インチ	119.1 cm
GMAX 5900 ProContractor	32.7 インチ	83.1 cm
GMAX 5900 Convertible, Standard	33.0 インチ	83.8 cm
GMAX 5900 IronMan	37.7 インチ	95.8 cm
TexSpray 5900HD ProContractor	32.7 インチ	83.1 cm
TexSpray 5900HD Standard	37.7 インチ	95.8 cm
幅:	24.4 インチ	62.0 cm
接液部品	亜鉛およびニッケルプレート炭素鋼、PTFE、ナイロン、ポリウレタン、UHMW、フルオロエラストマー、アセタール、レザー、アルミニウム、タングステンカーバイド、ステンレス鋼、クロームめっき	
騒音レベル:		
音響出力	105 dBa、ISO 3744 準拠	
音圧	96 dBa (3.1 ft で測定)	96 dBa (1 m で測定)

モデル 7900		
	米国	メートル法
エンジン		
Honda GX200 エンジン		
スプレーヤ		
最高作業圧力	3300 psi	228 bar、22.8 MPa
最大チップサイズ	1 ガン、0.048 インチチップ	
	2 ガン、0.035 インチチップ	
	3 ガン、0.027 インチチップ	
	4 ガン、0.023 インチチップ	
最大放出速度	2.2 gpm	8.33 lpm
インレット塗料ストレーナ	8 メッシュ (2589 ミクロン) ステンレススチールスクリーン、再利用可能	
アウトレット塗料フィルタ	60 メッシュ (250 ミクロン) ステンレススチールスクリーン、再利用可能	
ポンプインレットサイズ	1-5/16-12 UN-2A	
液体アウトレットサイズ	液体フィルタから 3/8 npsm	
寸法		
重量:		
GMAX 7900 Standard	148 lb	67.3 kg
GMAX 7900 Lo-Boy	154 lb	70.0 kg
GMAX 7900 ProContractor	167 lb	75.9 kg
GMAX 7900 IronMan	157 lb	71.2 kg
TexSpray 7900HD Pro	182 lb	82.7 kg
TexSpray 7900HD Standard	153 lb	69.5 kg
TexSpray 7900HD IronMan	162 lb	73.5 kg
全高:		
GMAX 7900 Standard	40.5 インチ	102.9 cm
GMAX 7900 Lo-Boy	27.2 インチ	69.1 cm
GMAX 7900 ProContractor	38.0 インチ	96.5 cm
GMAX 7900 IronMan	40.5 インチ	102.9 cm
TexSpray 7900HD Pro	38.0 インチ	96.5 cm
TexSpray 7900HD Standard	40.5 インチ	102.9 cm
TexSpray 7900HD IronMan	40.5 インチ	102.9 cm
長さ:		
GMAX 7900 Standard	38.1 インチ	96.8 cm
GMAX 7900 Lo-Boy	46.9 インチ	119.1 cm
GMAX 7900 ProContractor	33.3 インチ	84.6 cm
GMAX 7900 IronMan	38.1 インチ	96.8 cm
TexSpray 7900HD Pro	33.3 インチ	84.6 cm
TexSpray 7900HD Standard	38.1 インチ	96.8 cm
TexSpray 7900HD IronMan	38.1 インチ	96.8 cm
幅:	24.4 インチ	62.0 cm
接液部品	亜鉛およびニッケルプレート炭素鋼、PTFE、ナイロン、ポリウレタン、UHMW、フルオロエラストマー、アセタール、レザー、アルミニウム、タングステンカーバイド、ステンレス鋼、クロームめっき	
騒音レベル:		
音響出力	105 dBa、ISO 3744 準拠	
音圧	96 dBa (3.1 ft で測定)	96 dBa (1 m で測定)

3900モデル（2012213、2012514、2012515のみ）		
	米国	メートル法
エンジン		
Honda GX160 エンジン		
スプレーヤ		
最高作業圧力	3300 psi	228 bar、22.8 MPa
最大チップサイズ	1 ガン、0.036 インチチップ	
	2 ガン、0.023 インチチップ	
	3 ガン、0.018 インチチップ	
最大放出速度	1.25 gpm	4.73 lpm
インレット塗料ストレーナ	8 メッシュ (2589 ミクロン) ステンレススチールスクリーン、再利用可能	
アウトレット塗料フィルタ	60 メッシュ (250 ミクロン) ステンレススチールスクリーン、再利用可能	
ポンプインレットサイズ	1-5/16-12 UN-2A	
液体アウトレットサイズ	液体フィルタから1/4 npsm	
寸法		
重量:		
GMAX 3900 Standard	111 ポンド	50.5 kg
GMAX 3900 ProContractor	138 lb	62.8 kg
全高:		
GMAX 3900 Standard	40.8 インチ	103.6 cm
GMAX 3900 ProContractor	38.3 インチ	97.3 cm
長さ:		
GMAX 3900 Standard	38.3 インチ	97.3 cm
GMAX 3900 ProContractor	32.3 インチ	82.0 cm
幅:		
GMAX 3900 Standard	22.3 インチ	56.6 cm
GMAX 3900 ProContractor	22.3 インチ	56.6 cm
接液部品	亜鉛およびニッケルプレート炭素鋼、PTFE、ナイロン、ポリウレタン、UHMW、フルオロエラストマー、アセタール、レザー、アルミニウム、タングステンカーバイド、ステンレス鋼、クロームめっき	
騒音レベル:		
音響出力	105 dBa、ISO 3744 準拠	
音圧	96 dBa (3.1 ft で測定)	96 dBa (1 m で測定)

カリフォルニア州法 65

カリフォルニア州居住者

 **警告** 発がんおよび生殖への悪影響 – www.P65warnings.ca.gov.

注意

[illegible]

Graco 標準保証

Graco は、この文書で言及されている Graco が製造し自社の名称が付いたすべての装置が、当初の購入者に販売された時点で材料および製造上の欠陥がないことを保証します。Gracoが発行する特別、延長、または限定品質保証を除き、Gracoは販売日から 12 ヶ月間、欠陥があるとGracoが判断した装置のいかなる部品も修理または交換します。この品質保証は、装置が Graco の書面による推奨事項に従って取付、操作、保守された場合にのみ適用されます。

誤った設置、誤用、摩擦、腐食、不十分または不適切な保守、怠慢、事故、改ざん、または Graco 製でない構成部品の代用が原因で発生した一般的な摩耗、あるいは誤動作、損傷、摩耗については、本保証の範囲外であり、Graco は一切責任を負わないものとします。また、Graco は、Graco の装置と Graco が供給していない構造、付属品、装置、または材料との不適合性、または Graco が供給していない構造、付属品、装置、または材料の不適切な設計、製造、設置、操作、またはメンテナンスによって生じた故障、損傷、または摩耗についても責任を負いません。

この品質保証は、欠陥があると主張された装置を、主張された欠陥の検証のために、認定された Graco 販売代理店に前払いで返却することを条件とします。主張された欠陥が確認された場合、Graco は欠陥のある部品を無料で修理または交換します。装置は、輸送料前払いで、直接お買い上げいただけたお客様に返却されます。装置の検査で材料または製造上の欠陥が発見されなかった場合、修理は妥当な料金で行われます。この料金には、部品、工賃、および輸送の費用が含まれる場合があります。

本品質保証は排他的なものであり、明示または黙示の他のいかなる品質保証にも代わるものです。これには、商品性の品質保証または特定目的への適合性の品質保証が含まれますが、これに限定されません。

保証違反に対する Graco の唯一の義務および購入者の唯一の救済は上記のとおりです。購入者は、他の補償 (これには、利益の損失、売上の損失、人身傷害、または器物破損による偶発的または結果的な損害、または他のいかなる偶発的または結果的な損失が含まれますが、これに限定されません) は得られないものであることに同意します。保証違反に関連するいかなる行為も、販売日から起算して 2 年以内に提起する必要があります。

グラコによって販売されているが、製造されていないアクセサリ、装置、材質、または構成部品に関しては、グラコは品質保証を行わず、特定目的に対する商用性および適合性の全ての黙示品質保証は免責されるものとします。 Graco によって製造されていないが販売されているアイテム (電気モーター、スイッチ、ホースなど) には、メーカーの保証 (ある場合) が適用されます。Gracoは、これらの品質保証違反に関する何らかの主張を行う際は、合理的な支援を購入者に提供いたします。

いかなる場合でも、Graco は Graco の提供する装置または備品、性能、または製品の使用またはその他の販売される商品から生じる間接的、偶発的、特別、または結果的な損害について、契約違反、保証違反、グラコ の過失、またはその他によるものを問わず、一切責任を負わないものとします。

Graco に関する情報

グラコ製品の最新情報については、www.graco.com にアクセスしてください。

特許情報については、www.graco.com/patents をご覧ください。

Graco 製品のご注文は、Graco 販売代理店をお問い合わせするか、または 1-800-690-2894 に電話して最寄りの販売代理店を特定してください。

本文書に含まれる全ての文字および図、表等によるデータは、出版時に入手可能な最新の製品情報を反映しています。Graco は、いかなる時点においても通知することなく変更を行う権利を留保します。

説明書原文の翻訳版。This manual contains Japanese. MM 3A6400

Graco 本社：Minneapolis

海外支社：ベルギー、中国、日本、韓国

GRACO INC. AND SUBSIDIARIES • P.O. BOX 1441 • MINNEAPOLIS MN 55440-1441 • USA

Copyright 2018, Graco Inc. Graco のすべての製造場所は ISO 9001 に登録されています。

www.graco.com

改訂 C, 2025 年 10 月